

# 北海道議会時報

第29卷 第5・6号

特集 第11回参議院議員通常選挙結果



北海道議会事務局

北海道議会時報第29卷第5・6号(昭和52年)

(表紙写真説明)

## 国指定重要文化財—旧三戸部家住宅

旧三戸部家住宅は、明治5年に建設された旧亶理藩士の移住者の家屋で、開拓農家として現存最古のものであり、昭和44年、明治百年を記念して、伊達町（現在市）荻原の三戸部弘氏から伊達町に寄贈され、同町開拓記念館敷地に移設、復原された。

昭和46年12月28日、国の重要文化財として指定されており、北海道初期の開拓時の苦難をしのぼせる土間と2室の小型住宅であるが、内部構造には、当時の仙台地方の様式が取り入れられており、文化的価値の高いものである。

この建物は、間口5間、奥行3間半のよせ棟造り、かやぶきで、かんなを用いず、ちょうなで削り、1本の釘も用いず、組立てによる建築で、向かって左がイタと呼ばれる部屋で、台所としたようである。右前面がオクザ、後方がナンドの2室で、床も低い簡単なものである。イタの前面を切り込んで、幅2間、奥行3尺の土間を設け、引分け板戸で外部へ出入りする。また、イタの中央にイロリを切っており、各部屋はすべて板張り、荒壁で、窓はナンドに1カ所設けている。はり間全幅にわたって架けられた大はりば、小住宅に似合わず太くきょう固に造られている。

(写真提供—道教育庁文化課)

委員会の動き

議会運営委員会	1
常任委員会	2
特別委員会	11
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
決算特別委員会	

会          合

全国都道府県議会議長会	24
都道府県議会議員共済会	25
10都道府県議会議長会	25
北海道東北6県議会議長会	25
東北自治協議会	25
東北新幹線建設促進期成同盟会	26

資          料

第11回参議院議員通常選挙の結果

4・5・6月のメモ

# 議 会 日 誌

## ▶ 4 月

- 1 日 各常任（総務、商工労働を除く）委員会
- 5 日 総務委員会
- 11 日 商工労働、文教林務各委員会
- 12 日 建設委員会
- 14 日 総合開発調査特別、石炭対策特別各委員会
- 18 日 } 決算特別委員会
- 19 日 }
- 20 日 }
- 25 日 建設、農地開発、文教林務、総合開発調査特別、公害対策特別各委員会
- 27 日 石炭対策特別委員会
- 28 日 総合開発調査特別、決算特別各委員会

## ▶ 5 月

- 6 日 総務、厚生、農務、水産、文教林務、北方領土対策特別各委員会
- 7 日 商工労働、建設、文教林務各委員会
- 9 日 総合開発調査特別委員会
- 10 日 } 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 11 日 }
- 12 日 農地開発、決算特別各委員会
- 13 日 議会運営効率化小、決算特別各委員会
- 16 日 総合開発調査特別委員会
- 17 日 } 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 18 日 }
- 19 日 }
- 20 日 }
- 21 日 総合開発調査特別委員会
- 23 日 石炭対策特別委員会

- 24 日 決算特別委員会
- 25 日 } 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 26 日 }
- 27 日 }
- 30 日 総合開発調査特別委員会
- 31 日 総合開発調査特別、決算特別各委員会

## ▶ 6 月

- 1 日 農地開発、総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 2 日 総務、商工労働、農務、建設、文教林務各委員会
- 3 日 水産、総合開発調査特別各委員会
- 4 日 総合開発調査特別委員会
- 6 日 厚生、総合開発調査特別各委員会
- 7 日 総合開発調査特別、石炭対策特別、決算特別各委員会
- 8 日 } 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 9 日 }
- 10 日 }
- 11 日 総合開発調査特別委員会
- 13 日 議会運営、議会運営効率化小、総合開発調査特別各委員会
- 14 日 } 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 22 日 }
- 23 日 水産、総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 24 日 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 25 日 総合開発調査特別委員会
- 28 日 } 決算特別委員会
- 29 日 }

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○5月13日（金） 午前11時37分、議会運営委員会室において議会運営効率化小委員会を開議、午後零時8分散会、小委員長 西尾六七（自民）

開議に先だち、新任の議会事務局長並びに総務部長の紹介。

- ① 共産党から申入れがあった企業会計決算特別委員会の構成について、「企業会計決算特別委員会の構成問題については、従前どおり19人とすることとし、なお委員外議員発言は、委員の割当のない会派の議員に限り、申し出を認めることとし、委員会においてこれを許可した場合には、許可した日の委員会に出席するための費用弁償は、通常の例により支給する。」ことをはかり、異議なく決定。
- ② 総務部長から、道の機構改革の見通しについて説明の後、常任及び特別委員会の改組について、今回は現行どおりとし、次の議運に送り事項とすることに決定。
- ③ 議会運営に関する決定事項の整理案について、議事課長から説明の後、各会派で検討願い、次回委員会において決定することを了承。
- ④ 予算特別委員会の分科会審議について、中田繁夫委員（社会）、小野秀夫委員（道政）及び本間喜代人オプザーバー（共産）からそれぞれ意見があり、次回委員会において検討することとした。

○6月13日（月） 午後1時8分、議会運営委員会室において議会運営効率化小委員会を開議、午後1時40分閉会、小委員長 西尾六七（自民）

- ① 5月13日の決定事項について、配付のとおり本委員会に報告することに異議なく決定。
- ② 議会運営に関する決定事項の整理案について、各会派の提出意見を配付資料により説明の後、質疑中断の取扱い、緊急質問の取扱いに関する申し合せ、緊急質問の発言順位、知事提出議案の説明、議案の送付、第1回定例会予算特別委員会分科会、請願、陳情の取扱い及び代表質問に関し、それぞれ各委員から意見の交換を行ない、所要の一部改正を行なうことに決定。
- ③ 次期議会運営委員会に対する送り事項について配付資料のとおり決定。
- ④ 小委員長から、小委員会における調査終了のあいさ

つがあった。

○6月13日（月） 午後1時46分、議会運営委員会室において開議、午後2時散会、委員長 西尾 七六（自民）

- ① 委員長から、5月31日付けて、高橋賢一総合開発調査特別委員（自民）の辞任を許可し、水沼徳一郎議員（自民）が補欠選任された旨を報告。
- ② 委員長から、元道議会議員伊藤作一氏（札幌市選出、15期ないし18期、5月1日）、中牧保氏（胆振支庁選出、13期ないし15期、5月9日）及び土橋伝七氏（網走支庁選出、14期、5月10日）の逝去について報告。
- ③ 第2回定例会の招集期日を7月16日とすることを了承。会期は20日間とすることに決定。
- ④ 企業会計決算特別委員会の構成問題と常任及び特別委員会の改組問題に係る議会運営効率化小委員会の決定（5月13日の小委員会記録参照）について、本委員会の決定事項とすることに決定。
- ⑤ 議会運営に関する決定事項に係る議会効率化小委員会における決定（別記）を、本委員会の決定事項とすることに決定。
- ⑥ 次期議会運営委員会に対する送り事項について別紙配付のとおり決定。
- ⑦ 今期議会効率化小委員会の調査終了を異議なく決定。
- ⑧ 本間喜代人オプザーバー（共産）から、議案の送付時期について発言。

（別記）

### ○議会運営に関する決定事項の一部改正について

- 1 質疑中断の取扱い  
「……その状況によっては、」を「議会運営委員会又は理事会において協議の上、」に改める。
- 2 代表質問について  
「代表質問は、毎会期各会派が行なう。」を「代表質問は、毎会期持ち時間内において各会派が行なう。」に改める。
- 3 緊急質問の取り扱いに関する申し合せ  
「エ 緊急質問の取り扱いにつき、議会運営委員会において検討するに当たっては、できる限り所属各派の自主性を尊重する。」を削除する。
- 4 緊急質問の発言順位について  
ア「…臨時会、定例会を通じ、代表質問の順位の例により輪番制とする。」を「…その都度、議会運営委員会において協議の上、決定する。」に改める。  
ウ「…第1項の例に準じ輪番制とする。」を「…アの例に準ずる。」に改める。
- 5 知事の提出議案の説明  
「……説明書を従前どおり配付することとし、その概要を要約して行なうなど配慮するよう知事部局に

申し入れる。」を「……説明書を従前どおり配付し、その概要を要約して行なうものとする。」に改める。

#### 6 議案の送付

「できるだけ早く各派に配付できるよう努力を願う。」を「できるだけ早く各派に配付できるよう努めるものとする。」に改める。

#### 7 請願、陳情の取り扱い

「2 紹介議員及び請願、陳情代表者の説明聴取については、従前どおりの扱いとする。」を「2 紹介議員及び請願、陳情代表者から説明のため申し出があった場合は、従前どおり委員会開議前又は休憩中に説明を聴取する扱いとする。」に改める。

## 常任委員会

### 総務委員会

○4月5日(木) 午後3時17分、第5委員会室において開議、午後4時26分散会、委員長 作田 政次(自民)

人事異動に伴う道及び道警幹部職員を紹介

#### 一般議事

① 委員長から、道内における地方行財政調査の実施については、異議なくそのことに決定。

② 総務部長から、不当労働行為救済命令取消請求事件の判決について報告の後、

塚本 肇委員(社会)から、労使関係における関係法令の基準についての所見、地方労働委員会の決定に対し地裁に提訴した理由、判決に対する今後の取扱い等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

③ 吉田 英治委員(社会)から、ハイヤー・タクシー料金の運賃協定の一本化申請の概要、料金一本化の根拠と冬季割増料金の内容、運賃値上げの実施時期、道と陸運局との連けいの必要性、消費者団体の運賃値上げ反対に対する道の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び生活環境部長から答弁。

④ 委員長から、委員長会議において、総合開発調査特別委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、5月14日まで各委員の意見を列挙、提出方の依頼があった旨を報告。ついで、理事会協議の結果、5月6日、7日の両日委員会を開催し、意見を開陳願うこととした旨を発言。

○5月6日(金) 午後2時15分、第5委員会室において開議、午後2時24分散会、委員長 作田 政次(自民)

#### 一般議事

① 委員長から、さきに実施した道内及び沖縄県における地方行財政調査の概要について報告書によりそれぞれ報告、異議なくこれを了承。

② 委員長から、さきに実施した特別豪雪地帯の指定、寒冷地手当の増額等並びに地方交付税における寒冷補正に用いる地域区分の是正に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

③ 委員長から、道警察学校及び札幌医科大学の施設等調査の実施については、異議なくそのことに決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

④ 一野坪 勉委員(社会)から、北海道総合開発計画に関する道意見案に係る当委員会としての意見は出す

べきでない旨発言。

## 厚生委員会

○4月1日(金) 午前11時22分、第9委員会室において開議、午前11時37分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

### 一般議事

- ① 委員長から、道外における民生、衛生事情調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 星野 健三委員(社会)から、育児休業法に関し、民生部、衛生部所管施設の実態資料の提出、民間施設に対する指導方針と休業者の復職に対する指導について質疑及び意見があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

○5月6日(金) 午前11時9分、第9委員会室において開議、午後1時50分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

### 一般議事

- ① 委員長から、委員長会議において、総合開発調査特別委員長から、北海道総合開発計画に関する意見案中本委員会所管部分について、5月14日までに各委員の意見提出方の依頼があった旨を報告。
- ② 民生部長及び衛生部長から、北海道総合開発計画に関する道意見案について説明の後、

岩崎 守男委員(社会)から、社会福祉施設等の設置に対する地域指定、計画案に対する道職員の意見の取入れ方、道民の健康状態の地域格差の解消策、道央指向型に対する再検討の必要性、地域の疾病状況等を考慮した住民の健康管理について、

星野 健三委員(社会)から、精神障害者社会復帰施設の計画内容、アル中患者と一般精神病患者との施設の分離及びアル中患者専門施設の設置について、

奥野 一雄委員(社会)から、基本的な考え方として福祉・医療に対する開発調整部との協議内容及び国の予算措置が不可能になった場合の道の方針、保健医療需要拡大に伴う供給体制の確保、地域保健計画の基本的対策の内容、老人・乳幼児医療費の無料化が計画に入っていない理由、母体保護の対処の仕方、食品・環境衛生監視の強化、添加物・農薬の検査体制の強化、救急医療確保のための公的病院の義務づけ、上水道水処理確保を道が主体性をもって推進すること、廃棄物の理規制と業者負担、身体障害者の住みよい街づくり対策の強化、民間社会福祉施設職員の待遇改善について

伊藤 豪委員(道政)から、無医地区の解消、医療体

制の偏差に対する配慮、心身障害者の実態把握のための福祉思想の啓発について、

武部 勤委員(自民)から、道東地区の広大な地域に対する特殊性に応じた福祉、医療施設の配置、有料老人ホームの増設、観光地の時期的需要増に対する医療対策、国民年金保養センターをオホーツク沿岸に設置することについて

質疑及び意見があり、民生部長、衛生部長からそれぞれ答弁。委員長から、意見のとりまとめについては委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

○6月6日(月) 午後1時25分、第9委員会室において開議、午後1時36分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

### 一般議事

- ① 委員長から、北海道総合開発計画に関する意見案に係る各委員の意見を取りまとめ、総合開発調査特別委員長あて提出した旨を報告。
- ② さきに実施した道外における民生・衛生関係事情調査について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 衛生部長から、昭和51年度調理師試験における不実証明の処理について説明。
- ④ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金に関する諮問の概要について説明の後、  
奥野 一雄委員(社会)から、公衆浴場の主な赤字の理由及び支出増加の原因について  
質疑があり、衛生部長から答弁。

## 商工労働委員会

○4月11日(月) 午後1時10分、第8委員会室において開議、午後3時27分散会、委員長 野中 富雄(社会)

人事異動に伴う企業局幹部職員を紹介

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した労働行政の充実強化に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 商工労働事情に関する道内調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期・派遣委員等については、委員長に一任とした。
- ③ 委員長から、委員長会議において北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、5月14日までに各委員の意見を列挙、提出方の依頼があった旨を報告の後、商工観光部長、労働部長及び公営企業管理者から関係部分について順次説明。

- ④ 青木 延男委員（社会）から、帝産ハイヤーの紛争に関するその後の経過と解決方法、旭川市第一交通の合併問題の実態把握と今後の指導方、旭川市山田縫製会社の労組委員長解雇に関連しての経営コンサルタントの労働争議への介入に係る実態把握及び今後の対応策等について

牧野 唯司委員（公明）から、季節労働者の実態調査の実施状況と求職者7万人の根拠、国庫債務負担行為の発注が季節労働者に与える影響、国会における労働大臣の答弁と本道の実態との関連について、

大場 信吾委員（自民）から、200海里問題による水産関連産業に与えた被害の把握、道への陳情の内容、業界に対する融資対策、運輸関連企業に対する保証、200海里問題に係る 雇用対策、雇用保険に係る明確な方針の必要性、道の執行体制の強化等について 質疑、意見及び要望があり、労働部長及び商工観光部長から答弁。

○5月7日（土） 午前11時31分、第8委員会室において開議、午後零時45分散会、委員長事故のため副委員長 高木 正明（自民）

#### 一般議事

- ① 北洋漁業関連中小企業金融対策について、商工観光部長から説明の後、

宇野 真平委員（自民）から、緊急融資の条件緩和について、

大場 信吾委員（自民）から、融資対象除外業種の取扱い、資金需要の資料提出について、 質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ② 雇用調整給付金制度の業種指定に関し、労働部長から説明の後、

大場 信吾委員（自民）から、指定除外業種名とその理由、指定の再検討、指定期間経過後の方針について、

湯本 芳志委員（社会）から、200海里問題に伴う影響としての雇用の実態把握と今後の対策について、

牧野 唯司委員（公明）から、雇用調整給付金制度の業種指定に関しての地域実態調査の内容について 質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

- ③ 副委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案について、一括質疑を行なう旨を報告の後、

湯本 芳志委員（社会）から、大規模観光レクリエーション基地の計画、規模、内容及び事業主体、営農への影響、自然保護対策等について 質疑があり、商工観光部長及び観光室長から答弁。

青木 延男委員（社会）から、北海道総合開発計画に関する意見案の討論の場に対する社会党の見解について発言。

- ④ 副委員長から、青木委員の発言についてはかり、異議なく、総合開発調査特別委員会に対する意見の取扱いについて委員長に一任することとした。

- ④ 高江 良男委員（社会）から、道営競輪を廃止した経緯、滝川市の競輪誘致に対する道の対応、地元市町とのコンセンサスについて

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

○6月2日（木） 午後1時52分、第8委員会室において開議、午後3時散会、委員長 野中 富雄（社会）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さき実施した商工労働事情に関する道内調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承の後、

青木 延男委員（社会）から、報告内容のうち、200カイリ対策について発言。

- ② 委員長から、道外における商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ③ 商工観光部長から、日ソ漁業交渉の妥結に伴う影響と対策、中小企業振興資金融資制度の末端利率の引下げ及び北海道名古屋事務所開設について説明の後、

大場 信吾委員（自民）から、5月以降の緊急融資対策の追加枠設定の考え、融資条件の緩和、5月末現在における調査結果の報告方等について、

湯本 芳志委員（社会）から、魚価及び魚の在庫日数の調査方法、道民生活安定条例による立入り検査の有無について

深山 和閉委員（自民）から、現地における金融機関の対応について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ④ 労働部長から、雇用調整給付金制度の業種追加指定について説明の後、

大場 信吾委員（自民）から、指定要望業種中の未指定業種名、事業所数及び従業員数、今後の指定可能性、指定期間の延長並びに今後の対策等について、

青木 延男委員（社会）から、200海里問題に対処する道の機構の整備、本委員会の国への要望等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁、委員長から応答。

#### 農務委員会

○4月1日（金） 午前11時30分、第7委員会室において開議、午後零時55分散会、委員長 東

典俊（自民）

### 一 般 議 事

- ① 農務部長から、昭和52年度の畜産物価格決定について説明の後、

岡本 栄太郎委員（社会）から、酪農改善のための資金の内容と負債整理との関係について

質疑があり、酪農草地課長から答弁。

- ② 岡本 栄太郎委員（社会）から、(1)りんご等果樹の冬害に関し、被害状況と今後の影響及び対策、(2)第2次農業構造改善事業の推進資金の貸付対象範囲に関する見解と対処方法及び制度改善の検討方、(3)肉牛繁殖センターの経営改善に関し、国との協議経過及び共同利用の利用料の措置方法、(4)農業改良普及所の活動に関し、農協の営農指導との関連、専門普及員の適切な地域配置と普及活動専念体制の確立方等について、

舟山 広治委員（社会）から、(1)牛の気腫病に関し、発生状況と今後の見通し、対策の状況、発生原因と飼養管理型態との関係、発生の地域分布、(2)農業資機材の流通の現状に関する資料提供方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長、稲作園芸課長、農業改良課長、農業構造改善課長及び畜産課長から答弁。

- ③ 委員長から、委員長会議において、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、5月14日までに各委員の意見を列挙し、提出方の依頼があった旨を報告。ついで、理事会協議の結果5月6日、7日の両日協議会を開催し、意見を開陳願うこととした旨を発言。

○5月6日（金） 午後零時4分、第7委員会室において開議、午後6時18分散会、委員長 東典俊（自民）

### 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 農務部長から、農作業進捗状況等について説明。

- ③ 農務部長から、甘味資源審議会の概要について説明の後、

岡本 栄太郎委員（社会）から、糖業制度の見直しと糖安法改正の必要性等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- ④ 農務部長から、昭和52年1月から2月の異常寒波による果樹の被害状況と対策について説明の後、

岡本 栄太郎委員（社会）から、りんごの品種別被害状況及び桜桃の被害状況と対策について、

工藤 啓二委員（公明）から、被害額の今後の増減見通し、被害部位と被害による今後の影響、ふらん病の発生対策と農業補助に対する考え等について

質疑及び要望があり、農務部長及び農業改良課長から答弁。

- ⑤ 農務部長から、次期農業構造改善対策の要望概要について説明。

- ⑥ 委員長から、道内農業事情調査を明7日に実施することををはかり、異議なくそのことを決定。派遣委員等は委員長に一任することとした。引き続き協議会開催のため午後零時40分休憩、（北海道総合開発計画に関する道意見案に係る件について 当委員会所管部分の検討を行なった。）午後6時16分再開。委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案に係る件については、協議会における検討をもとに各委員の意見を文書化し、総合開発委員会へ提出することを決定。文書化については、正副委員長に一任することとした。

○6月2日（木） 午前11時42分、第7委員会室において開議、午後零時46分散会、委員長 東典俊（自民）

### 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案について、さきの協議会における各委員の意見を配付のとおり文書化し、5月14日、総合開発調査特別委員長に提出した旨報告。

- ③ 農務部長から、農作物生育状況等について説明の後、堀田 毅委員（自民）から、本年のてん菜作付面積について、

舟山 広治委員（社会）から、作況の把握方法と調査間隔及び普及所の本来業務との関係について

質疑及び意見があり、農務部長及び農業改良課長から答弁。

- ④ 委員長から、麦価等に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ⑤ 岡本 栄太郎委員（社会）から、(1)畑作問題研究会の来道に関し、来道のメンバーと調査地域、研究会に対する要請内容、本道畑作振興基本の論議の必要性、農民の意見の反映方法、研究成果の取りまとめ時期、(2)酪農問題に関し、51年度加工原料乳不足払い制度補給金の超過分の精算時期、酪農経営改善資金に対する農協の対応状況と貸付基準緩和の働きかけの必要性、乳用雌子牛資源確保対策事業の経過と資源確保の観点から厳しい貸付条件を付さないよう努力方等について質疑、意見及び要望があり、農務部長、酪農草地課長及び畜産課長から答弁。

- ⑥ 藤井 虎雄委員（社会）から、空知共同牧場の問題に関し、訴状記載の1万8,700ヘクタールの地目区分、

農協法違反及び登記者が登記簿上の住所に居住していない事実に対する見解、国に係る事務に対する道の姿勢等について  
質疑及び意見があり、農地調整課長及び農業改良課長から答弁。

## 建設委員会

○4月1日(金) 午前11時21分、第4委員会室において開議、午前11時58分散会、委員長 田 莉子 政太郎(自民)

### 一般議事

① 土木部長から、伊達パイプラインに関するその後の経過について説明の後、

合坪 正三委員(社会)から、住民団体及び地主との関係、河川の流水、道路交通への配慮、安全管理の方法、北電の公害管理対策、許可に当たっての審査基準、施設に関する北電の保安体制、建設省との協議時期等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

② 委員長から、委員長会議における北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、5月14日までに総合開発調査特別委員会に意見を提出すること及び理事会協議の結果、次回委員会において検討することとした旨を報告。

○4月12日(火) 午後1時59分、第4委員会室において開議、午後2時43分散会、委員長 田 莉子 政太郎(自民)

### 一般議事

① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、本日は、概要説明の聴取及び資料要求を行ない、4月25日及び5月6日・7日の委員会において質疑等を行なう旨発言。

② 土木部長及び住宅都市部長並びに各部参事から概要説明。

○4月25日(月) 午後2時15分、第4委員会室において開議、午後5時8分散会、委員長 田 莉子 政太郎(自民)

### 一般議事

① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分についてはかり、

松本 響委員(自民)から、住宅整備の計画達成の可能性、地域偏在の是正、地方都市整備の方法、公営住宅の質の向上、保育所併設公営住宅の建設、街路樹の整備促進について、

小野 秀夫委員(道政)から、港湾関連行政機構の充実、北海道行政連絡協議会の設置、庁内における機関の設置、港湾取扱い貨物量と各港別の割振りの根拠、標準換算貨物量の港湾別の格差解消、小樽港の位置づけについて、

合坪 正三委員(社会)から、団地開発に当たっての交通手段の確保、苫小牧東港と鉄鋼立地の関連、港湾共同管理の構成、企業進出に係る地元の意向配慮方について、

熊谷 克治委員(社会)から、治水関係主要指標欠落の理由、道路関係指標の根拠、市町村道の所要資金に係る地元との協議、道路整備と実績との関連、地域の要望の消化、道路構造の改革の検討、国費河川の指標に係る考え方、適正住居費の考え方、支出可能住居費の額等について、

浅川 正敏委員(自民)から、発展計画と年次計画の関連、市町村道整備に対する地元の要望、高速道路建設の方法等について、

高橋 敏委員(公明)から、計画達成時における道民生活の向上、鉄道の地下方式、地域暖房の進め方について、

佐藤 静雄委員(自民)から、冬季交通確保のための地熱の利用について

質疑、意見及び要望があり、土木部長、住宅都市部長、土木部参事及び住宅都市部参事から答弁。

② 熊谷 克治委員(社会)から、北広島団地の地域暖房値上げに係る住民との話し合いの結果、最終値上げ案に占める金利、供給戸数減及び会社の経営状況による影響、暖房会社の現況と今後の対策、赤字対策と公的資金による公社化、道営住宅入居者に対する救済措置等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○5月7日(土) 午前11時28分、第4委員会室において開議、午後零時27分散会、委員長 田 莉子 政太郎(自民)

### 一般議事

① 委員長から、前回委員会における熊谷委員の要求資料の提出があった旨を報告。ついて、

土木部参事及び住宅都市部参事から提出資料について説明の後、

熊谷 克治委員(社会)から、市町村道に対する投資実績と計画の関連、持家住宅の各年返済額と建物の規模、河川の主要指標のレベルアップ、住宅建築の積算内容等について

質疑があり、土木部参事及び住宅都市部参事から答弁。

② 土木部長から、地熱エネルギーの道路融雪に対する利用について説明の後、

佐藤 静雄委員（自民）から、地熱開発地域における積極的な利用方について要望。

- ③ 松本 響委員（自民）から、中小零細企業の育成と後進地域への配慮について、

熊谷 克治委員（社会）から、発展計画と開発法の関連、冬季対策の研究機構の整備、住宅建設の地域的配慮、地域暖房の将来計画について、

合坪 正三委員（社会）から、産業と人口配置等を取り入れた立体的計画について

質疑、意見及び要望があり、土木部長、住宅都市部長、土木部参事及び住宅都市部参事から答弁。

- ④ 北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分に係る意見の提出につき、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

- ⑤ 委員長から、道外調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員については委員長に一任。

○6月2日（木） 午前11時22分、第4委員会室において開議、午後1時26分散会、委員長 田 莉子 政太郎（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案に係る各委員の意見を配付のとおりとりまとめ、総合開発調査特別委員長に提出した旨を報告。

- ② 土木部長から、伊達パイプラインに係るその後の経過について説明。

- ③ 松本 響委員（自民）から、今年度工事の発注状況、上位ランク業者への発注偏重の是正、公共事業と景気浮揚の関連、現地土壌の施行体制と財政配慮からの発注との関連、発注の遅れに伴う建設労務者対策、太平建設、セキスイハウス等の事業内容、道発注工事の諸経費と太平建設等の下請業者との契約額の比較、住宅金融公庫の枠、住宅建設に対する行政指導について、

熊谷 克治委員（社会）から、下位ランク業者への発注対策、発注に対する実績の取扱い、下請業者、資材納入業者に対する指導の実態、指導に違反した場合の制裁、骨材の設計単価と現状価格の関連、住宅建設に関して指定資材の使用と検定の実態について、

小堀 秀次委員（社会）から、下位ランク業者に対する枠の設定等の必要性、発注に際して景気浮揚への配慮と地元企業優先の具体的対策、入札参加と受注の関連、景気浮揚の目的達成と公共事業費との関連性について

質疑、意見及び要望があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

## 農地開発委員会

○4月1日（金） 午前10時53分、第2委員会室において開議、午前10時58分散会、委員長 津川 直一（道政）

#### 一般議事

- ① 委員長から、他府県の農業基盤整備事業等事情調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。

実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、委員長会議において、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、総合開発調査特別委員会の審議に資するため、5月14日を目途に各委員の意見の提出方依頼があった旨報告の後、審議方法等については、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

○4月25日（月） 午後1時45分、第2委員会室において開議、午後2時8分散会、委員長 津川 直一（道政）

開議に先立ち、梅原前農地開発部長及び浜崎農地開発部長からそれぞれ退任、就任のあいさつがあった。

#### 一般議事

- ① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分に係る意見の取扱いについて、理事会協議の結果、本日は関係部分の概要説明及び資料要求を行ない、次回委員会で質疑等を行なう旨発言。

- ② 農地開発部長及び参事から概要説明の後、水沼 徳一郎委員（自民）から、資料提出について発言、委員長から応答。

○5月12日（木） 午後1時22分、第2委員会室において開議、午後3時38分散会、委員長 津川 直一（道政）

#### 一般議事

- 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分に対する質問並びに意見を求める旨の発言の後、

渋谷 澄夫委員（社会）から、自給率向上に対する考え方と目標達成の実現性、農用地の有効利用の必要性、土地基盤整備事業の建延に伴う受益者負担の増高に対する考え方と受益者の不満に対する配慮方、農地土地改良施設の保全対策の万全方、基盤整備事業の受益者意向を反映した実施方、米の生産調整に対応した適切な施策の必要性、建売り農場建設における既存近隣農家とのつりあいの配慮方、米作北限地域における複合経営地域に対するきめ細かな施策の必要性、ほ場整備に対応した営農指導の強化方等について、

影山 豊委員（社会）から、耕地面積の日標時における本道のシェアと実現の努力方、農用地拡大の手段と農地拡大需要面からみた目標達成の困難性、農地転用税の創設による農地造成財源強化等の必要性、遊休農用地の活用に対する考え方、農振地域、都市計画区域内等の農地の現状、土地基盤整備事業の促進と計画における年平均伸び率及び補助特例措置の維持に対する決意並びに地元負担軽減の努力方、土地改良資金の融資条件改善に対する考え方、農地開発関係事業の計画のローリング実施の有無、農業用水の確保の見通しと水資源の確保、配分に対する基本的考え方、農民の地域間格差の是正と地域指標の作成方等について質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。引き続き、委員長から、総合開発調査特別委員会に提出する意見のとりまとめについては、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

○6月1日（水） 午後2時3分、第5委員会室において開議、午後2時44分散会、委員長 津川 直一（道政）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さき実施した府県の農業基盤整備事業等事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案について、各委員の意見を配付のとおり取りまとめ、総合開発調査特別委員長に提出した旨報告。
- ③ 農地開発部長から、森町土地改良区問題について説明の後、  
渋谷 澄夫委員（社会）から、理事長のかかわりあいに対する見解、土地改良事業の各段階におけるチェックの態様、各種検査等で発見できなかった原因、二重帳簿の有無、農民が被害を受けないよう配慮方等について、  
柳谷 正一委員（公明）から、総会における支庁の立会いの有無と議事録の確認状況、補助金適化法に触れた場合の取扱い、事件発生後における業者についての確認の有無、土地改良区に対する強力な行政指導方等について  
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

## 水産委員会

○4月1日（金） 午後1時54分、第6委員会室において開議、午後2時10分散会、委員長 松浦 義信（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案

中本委員会所管部分について、5月14日までに意見を提出することとした旨及び理事会協議の結果、5月6日以降に検討することとした旨報告。

- ② 委員長から、日ソ交渉に関する道議会議員訪ソ団の構成は、自民3名、社会2名、道政、公明、共産、事務局、水産部各1名を派遣することを報告。
- ③ 川崎 守委員（共産）から、ニシン刺網漁船の紋別沖における操業と沿岸漁業との調整及び休業補償問題、羅臼におけるサケ定置漁業とカレイなど刺網漁業との調整の考え方等について、  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○5月6日（金） 午後3時16分、第6委員会室において開議、午後4時50分散会、委員長 松浦 義信（自民）

#### 一般議事

- ① 水産部長から、日ソ漁業交渉の経過について説明の後、  
砂原 清治委員（社会）から、水産加工業者等に対する融資条件緩和の必要性、円滑融資のための金融機関及び信用保証協会の指導方、漁業水域に関する暫定措置法の第14条に係る韓国漁船の適用除外に対する見解、国内規制類似条項の日韓協定への組み込み等について、  
川崎 守委員（共産）から、融資円滑化の努力、融資申込み状況等について、  
新沼 浩委員（自民）から、融資枠の支庁別配分額及び融資枠増額の考え、信用保証協会の事務処理促進、雇用調整給付金制度の対象外者の救済方等について  
委員長から、融資における国・道の条件の相違による不平等について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長及び水産経済課長から答弁。
- ② 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案については、検討を行わず、総合開発調査特別委員会に一任することをはかり、異議なくそのことに決定。

○6月3日（金） 午後1時55分、第6委員会室において開議、午後4時30分散会、委員長 松浦 義信（自民）

#### 一般議事

- ① 水産部長から、北洋漁業関係特別緊急融資措置に伴う補正予算措置について専決処分の報告の後、  
砂原 清治委員（社会）から、貸付条件の緩和について、  
川崎 守委員（共産）から、補償問題の解決見通し、加工原魚の確保策について、

伊藤 武一委員（公明）から、加工原魚の購入先による融資対象の除外の有無について、

滝沢 勉委員（自民）から、北洋漁業緊急特別資金の融資状況について、

林 勝委員（自民）から、融資条件等に係る金融機関の対応による制度の形骸化について、質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

② 水産部長から、日ソ漁業暫定協定の妥結に関する経過説明の後、

砂原 清治委員（社会）から、ソ日交渉におけるソ連の実績とわが国余剰の原則に対する考え方、減船補償及び各種漁業の再編成等今後の対応の基本姿勢、ミクロネシアからの協力要請の内容等について、

原 清重委員（社会）から、ソ日協定に臨む道の基本的姿勢、漁具被害の補償及びエリモ以西海区におけるオッタートロール漁業の線引きの解決見通し、減船のあり方に対する見解等について、

林 勝委員（自民）から、日本海えび漁業の採算性と行政措置の考え方について  
質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

#### 本日聴取した陳情

- ① 日ソ漁業交渉に伴う緊急国内措置の実施について
- ② 新海洋秩序対応策の早期確立について
- ③ 外国漁船操業対策の抜本的確立について  
北海道漁業協同組合長会議及び北海道指導漁業協同組合連合会代表者

○6月23日（木） 午後1時41分、第6委員会室において開議、午後3時6分散会、委員長 松浦 義信（自民）

#### 一般議事

① 水産部長から、日ソ漁業暫定協定締結後の経過及び日ソ漁業暫定協定締結に伴う緊急対策に関する道の要望事項並びに日ソ漁業交渉に伴う救済対策の基本方針の閣議決定についてそれぞれ説明の後、

砂原 清治委員（社会）から、共補償の内容と適用範囲及び道の考え方等について、

吉田 政一委員（自民）から、北転船及び沖合底曳き船の減船のあり方等について、

川崎 守委員（共産）から、漁船乗組員の意向調査の結果について、

林 勝委員（自民）から、えび漁業の操業許可隻数と採算性及びUターン船等に対する考え方について  
質疑及び要望があり、水産部長及び海洋法対策本部事務局長から答弁。

② 委員長から、日ソ漁業協定に伴う諸対策に係る中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任

することとした。

## 文教林務委員会

○4月1日（金） 午後零時4分、第10委員会室において開議、午後3時3分散会、委員長 笠島 保（社会）

#### 一般議事

① 林務部長から、昭和51年度の本道林産業の動向について説明の後、

野村 権作委員（自民）から、木材価格の基準値に本別・札幌を採った理由、ナラ材の産地価格が高い理由について、

小笠原 孝委員（自民）から、外材の需給関係について  
質疑があり、林務部長から答弁。

② 委員長から、昨日の委員会決定により、公立学校入学選抜改善研究協議会の報告に係る質疑を行なう旨を発言の後、

平野 明彦委員（自民）から、人為的な学校格差の意味、教員の人事交流の考え方、施設等条件整備後の実施の考え及び答申から実施までの期間、実施における慎重な配慮方、私学との関連等について

保格 博夫委員（社会）から、入選協報告尊重の意思、条件整備による学区の変更の考え、学区別の55年度目標、地域プラン設定の根拠、選抜制度実施のための検討手順、学区別の55年度の収容計画の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時52分休憩、午後2時再開し、保格委員から発言。ついて、

本間 喜代人委員（共産）から、学区外入学者率変更の時期等について

質疑があり、教育長から答弁。ついて、

山家 勇委員（社会）から、西興部村の道有林火災に関する道独自の原因調査を行なわなかった理由及び今後の対策等について

質疑があり、林務部長から答弁。ついて、

本間 喜代人委員（共産）から、事務補助等に従事の実習助手の配置の考え方及び免許取得との関連並びにその救済措置について、

保格 博夫委員（社会）から、地教委の内申なき処分及び措置要求の根拠、夕張事案における人事委員会決定と文部省通達に係る見解等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

③ 山家 勇委員（社会）から、次回委員会に教育委員長の出席の措置要求があり、委員長から応答。

○4月11日(月) 午後1時40分、第10委員会室において開議、午後3時50分散会、委員長 笠島 保(社会)

#### 一般議事

① 山家 勇委員(社会)から、3月31日の教育委員会で、3団体からの申入れを議題としなかった理由、教育長解任要求にかかる65万人の署名に対する判断、今後の話合いの考え方について、

保格 博夫委員(社会)から、教育委員会の見解を3団体へ通知した事実の有無、主任制に関する交渉を再開しないことに決めた時期並びに12月17日の本会議における教育長答弁との関連、教育現場の状況に対する見解等について、

本間 喜代人委員(共産)から、新年度の指導行政の実効に対する判断、当番制による事実上の主任制実施の違法性及びその追認の可能性等について

質疑、意見及び要望があり、教育委員長から答弁の後、

委員長から、教育委員会のあり方等について発言。

② 教育長、林務部長及び学事課長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について順次説明。

③ 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分に係る質疑は次回以降の委員会で行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定。

○4月25日(月) 午後1時25分、第10委員会室において開議、午後4時10分散会、委員長 笠島 保(社会)

#### 一般議事

① 教育長から、前回の委員会における保格委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

保格 博夫委員(社会)から、55年度における高校進学率及び収容計画等について

質疑があり、教育長から答弁。

② 北海道総合開発計画に関する道意見案について、

山家 勇委員(社会)から、教育長計と発展計画の具体的な整合方法、教育長計の実施計画に対する予算措置について、

委員長から、計画に対する国庫補助の展望、3カ年程度で調整を行なう必要性、経済成長率の見込みの適否について、

保格 博夫委員(社会)から、人口及び児童生徒数の変動に対する基本的な考え方について

質疑があり、教育長及び振興部長から答弁。議事進行の都合により午後2時33分休憩、午後2時38分再開。

委員長から、今後は協議会とすることについてはかり、異議なく了承。ついて、

本間 喜代人委員(共産)から、60年度までの中卒者の推計資料の公表について

質疑があり、教育長から答弁。資料提出の取扱いについて協議のため午後3時32分休憩、午後4時5分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○5月6日(金) 午後2時35分、第10委員会室において開議、午後5時2分散会、委員長 笠島 保(社会)

#### 一般議事

① 北海道総合開発計画に関する道意見案に係る前回委員会の要求資料について振興部長から説明の後、

本間 喜代人委員(共産)から、中卒者卒業率の確認資料を提出しない理由について

保格 博夫委員(社会)から、資料提出可能な範囲、年齢別推計の有無、進学率97%における質的変化の予測の有無、養護学校14校新設における新長計と教育長計との関連、障害児の高等部への収容率及び早期条件整備、小中学校学級編成改善のための財政的裏付けの欠如、幼児教育の目標設定に対する見解及び保育所整備との整合性、学校給食の整備基準の見直し、社会教育施設整備における基準引上げ等について、

山家 勇委員(社会)から、幼稚園教育と保育所との連携及び父母負担軽減目標の設定、定時制教育の将来構想の設定について、

委員長から、財政的配慮による幼稚園の設置促進、経済成長率7%の根拠、計画の3年区切りくらいの論議の必要性について

本間 喜代人委員(共産)から、市町村別中卒者推計数字の確認、教育内容の精選及び可能性に応じた教育の意味等について

質疑、意見及び要望があり、教育長、振興部長及び学事課長から答弁。

○5月7日(土) 午後2時12分、第10委員会室において開議、午後2時34分散会、委員長 笠島 保(社会)

#### 一般議事

① 北海道総合開発計画に関する道意見案について、

本間 喜代人委員(共産)から、市町村別中卒者数推計資料提出拒否と議会審議との関係、推計数による高校新增設の再検討、5段階評価の再検討等について、

保格 博夫委員(社会)から、森林転用の再検討について、

山家 勇委員(社会)から、カラマツ林等の将来及び林業労働力の将来展望の明確化、木材の高次加工推進による地場企業の育成等について

# 特別委員会

## 石炭対策特別委員会

質疑、意見及び要望があり、教育長及び林総務から答弁。ついで、

委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案に係る当委員会における意見の集約を委員長のもとにおいて行ない、総合開発調査特別委員会に提出することについては、異議なくそのことに決定。

- ② 委員長から、府県における文教林務事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○6月2日(木) 午後1時40分、第10委員会室において開議、午後3時3分散会、委員長 笠島 保(社会)

### 一般議事

- ① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案について、各委員の意見を配付のとおり取りまとめ、総合開発調査特別委員長に提出した旨を報告。
- ② 教育長から、苫小牧南高校新築工事及び厚岸水産高校校舎改築工事に関する専決処分予定について説明。
- ③ 保格 博夫委員(社会)から、(1)斜里事件無罪判決における休職教員の実損回復に係る見解、休職処分の妥当性と休職中の経済負担回復の検討方、(2)昭和51年、52年の生徒死亡障害事故の状況、災害補償額の早期改正の要請方、学校管理者賠償責任保険制度への本年度加入及び見舞金制度実施の検討方等について、
- 山家 勇委員(社会)から、昭和53年度の定時制間口減の方針、廃校における生徒の扱い、間口減実施の基準並びに地域住民とのコンセンサスを得る必要性等について、
- 質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○4月14日(木) 午後2時5分、第2委員会室において開議、午後3時40分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した産炭地振興計画改定に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 石炭対策本部事務局長から、夕張新第二炭鉱の閉山提案に伴う状況について説明の後、
- 石川 十四夫委員(道政)から、4月9日の北炭萩原会長と副知事の会談内容、閉山提案に対する道の考え方、化成工業所及び病院診療所に対する道の援助について
- 一野坪 勉委員(社会)から、国の2,000万トン体制の確立と夕張新第二炭鉱問題との関連に対する見解、閉山原因としての炭量枯渇に対する見解について、
- 藤井 虎雄委員(社会)から、副知事と労働組合の会談の有無とその結果の北炭会長への伝達について、
- 山家 勇委員(社会)から、新二炭閉山と新石炭政策の関連についての道の統一見解について
- 質疑及び意見があり、石炭対策本部事務局長から答弁。
- ③ 労働部長から、万字炭鉱離職者の就職状況について説明の後、
- 藤井 虎雄委員(社会)から、万字に関連しての朝日炭鉱の残留者数について、
- 工藤 万砂美委員(自民)から、閉山地域の建設業者に対する公共事業の優先発注の実現について
- 質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。
- ④ 委員長から、夕張第二炭鉱閉山提案に伴う現地事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期は明15日とし、派遣委員等については委員長に一任とした。
- ⑤ 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分に関する審査を次回委員会で行なうことについては、異議なくそのことに決定。
- ⑥ 工藤 万砂美委員(自民)から、(1)住友赤平炭鉱の合理化の内容、金融対策についての道の助成、(2)電力用炭のベルトコンベア輸送について、
- 山家 勇委員(社会)から、住友赤平炭鉱の労使からの事情聴取の実施と具体的な金融調整について、
- 藤井 虎雄委員(社会)から、万字線の無人化計画の実態把握、無人化と廃止の関連、道と国鉄の約束事項の内容、地元の対策協議会との連携について
- 質疑、意見及び要望があり、石炭対策事務局長、労働部長及び交通対策課長から答弁。

○4月27日(水) 午後2時20分、第2委員会室において開議、午後4時散会、委員長事故のため副委員長 山家 勇(社会)

① 副委員長から、さきに実施した夕張新第二炭鉱閉山提案に伴う現地事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、商工観光部長及び労働部長から説明の後、

一野坪 勉委員(社会)から、既存炭鉱の終掘による閉山、新鉱開発の考え方、労働力の推移と確保策、目標年次の石炭需要見込み、石炭火発の規模と石炭消費量、労働力の補充人員、火発の立地地点等について、

藤井 虎雄委員(社会)から、エネルギー需給バランス表の作成方法と見直しの考え方、深部移行の緩和策としての価格差是正と鉱区調整の関連、電力量の想定値、発電用燃料として石炭の位置づけ等について、

一野坪 勉委員(社会)から、雇用促進事業団の産炭地域における住宅建設の見込み、炭鉱従事者就職奨励金制度の継続と内容改善等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、労働部長、石炭対策事務局長及び開発調整部担当参事から答弁。

一野坪 勉委員(社会)から、本委員会の提出意見に関し、石炭賦存量に係る独自調査及び開発のビジョン確立、石炭鉱業開発推進本部の設置等について、宇野真平委員(自民)から、一野坪委員の意見の取扱い等について発言があり、委員長から、総合開発特別委員会に対する意見については、理事会に一任することについては、異議なくそのことに決定。

③ 委員長から、産炭地域振興計画改定並びに夕張新第二炭鉱閉山問題に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任。

④ 石川 十四夫委員(道政)から、夕張新第二鉱に係る炭量等の政府調査団派遣の要請方について発言。

#### 本日聴取した陳情

夕張新第二鉱の閉山阻止について

夕張新第二炭鉱労組

○5月23日(月) 午後2時15分、第8委員会室において開議、午後4時30分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案に対する本委員会の意見を配付のとおり取りまとめ、総合開発調査特別委員長に提出した旨を報告。

② 委員長から、さきに実施した産炭地域振興計画改定並びに夕張新第二炭鉱閉山提案に伴う中央折衝及び三井芦別炭鉱災害に伴う現地事情調査の概要について報

告書によりそれぞれ報告、異議なくこれを了承。

③ 石炭対策事務局長から、三井芦別炭鉱災害に関し説明の後、

藤井 虎雄委員(社会)から、保安対策に係る道自身の今後の施策、研究機関に対する道の助成措置について、

工藤 万砂美委員(自民)から、操業再開に関する道の働きかけ方、会社の1日当りの損失額について、山家 勇委員(社会)から、事故原因公表による不安の払拭、下請業者及びその従業員対策について質疑、意見及び要望があり、石炭対策事務局長から答弁。

④ 石炭対策事務局長から、北炭幌内炭鉱の取明け状況に関し説明の後、

石川 十四夫委員(道政)から、北炭夕張新第二炭鉱の閉山に係る知事と通産大臣との話し合いの内容、新規の企業誘致方について、

一野坪 勉委員(社会)から、新二鉱問題に係る5月17日の政府見解の性格、零片区域の取扱い、坑外員の再就職対策について、

工藤 万砂美委員(自民)から、日米知事会議における露頭炭開発の具体的提案内容、道の露頭炭に関する窓口と林務部の考え方、露頭炭企業の協議会との意見交換について、

藤井 虎雄委員(社会)から、日米知事会議の具体的内容について、

岩崎 守男委員(社会)から、新鉱開発の促進要請方、新鉱開発による雇用促進について、

山家 勇委員(社会)から、石炭問題に関する道の機構改革、石炭対策連絡会議の活用方、露天炭開発に係る林野行政との調整について

質疑、意見及び要望があり、石炭対策事務局長から答弁。

○6月7日(火) 午後2時35分、第8委員会室において開議、午後3時散会、委員長事故のため副委員長 山家 勇(社会)

○ 副委員長から、深部移行に伴う炭鉱保安確保対策の充実強化に関する中央折衝の実施並びに産炭地域6団体連絡協議会の出席の件については、異議なくそのことに決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 北方領土対策特別委員会

○5月6日(金) 午前10時34分、第2委員会室において開議、午後零時44分散会、委員長 堀田 毅(自民)

- ① 委員長から、北方領土復帰促進に関する愛知県の議決状況について報告。
- ② 委員長から、さきを実施した他府県議会への再議決要請のための委員派遣の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 領対本部長から、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の旧漁業権の補償要求額について説明の後、  
保格 博夫委員（社会）から、4島に限定した補償要求の妥当性、北千島及び南樺太における旧漁業権の有無及び両島にあてはめた場合の算定体制と算定実施の意向、4島と52年10月24日議決の意見書との関連等について、  
舟山 広治委員（社会）から、旧漁業権補償を4島に限定することと政府見解について  
質疑及び意見があり、領対本部長及び水産部技監から答弁。
- ④ 委員長から、委員長会議において北海道総合開発計画に関する道意見案中、本委員会所管部分について、5月14日までに各委員の意見を総合開発調査特別委員会に提出方要請があった旨を報告の後、領対本部長から、関係部分について概要説明。ついで、  
保格 博夫委員（社会）から、北方領土返還対象を4島「等」とすることについて、  
高木 正明委員（自民）から、北方領土関係に係る新項目設定について、  
湯本 芳志委員（社会）から、計画案中の新項目設定について  
質疑及び意見があり、領対本部長から答弁。
- ⑤ 意見の取扱いについては、正副委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑥ 舟山 広治委員（社会）から、道内民間団体と水産団体のトップ会談と当委員会との関連、議会とタイアップした取組み方、北方という言葉の根拠、根室市発行著書と4島とのそご等について、  
小堀 秀次委員（社会）から、当委員会の任務についての考え方、行政が民間を指導するに当たり議会にはからなかったことについて、  
湯本 芳志委員（社会）から、領対本部の当委員会に対する姿勢について  
質疑及び意見があり、領対本部長から答弁、委員長から応答。ついで、  
松浦 義信委員（自民）から、「北方領土」の表現に係る領対本部長の答弁内容に関し、休憩されたい旨の発言があり午後零時30分休憩、午後零時42分再開。  
領対本部長から、休憩前の舟山委員の質疑に対する答弁の一部を取り消した。

## 公害対策特別委員会

○4月25日（月） 午後2時59分、第2委員会室において開議、午後4時12分散会、委員長 阿部 恵三男（自民）

- ① 委員長から、北海道総合開発計画に関する道意見案中本委員会所管部分について、5月14日までに各委員の意見を総合開発調査特別委員会に提出方要請があった旨及び質疑の方法等に係る理事会協議の結果を報告。
- ② 生活環境部長から、関係部分にかかる概要について説明の後、  
伊藤 豪委員（道政）から、公害未然防止と環境アセスメント条例との関連、国のアセスメント法案の見通し、道の条例案との関連性と相違点、法律制定まで指導要綱等による取扱い、NO<sub>2</sub>の環境基準率100%達成可能な有無と手段、NO<sub>2</sub>に対する現実性ある目標値について、  
藤井 猛委員（自民）から、民間資金29兆円のうち公害関係の資金内容及び公害防止の新計画について、  
柳谷 正一委員（公明）から、公害防止推進計画の内容及び地域の特質を勘案した計画の策定、苫東地域の環境監視センターの新設と測定網の内容、地盤沈下防止の規制と今後の対策について（関連して、伊藤 豪委員（道政）から、地盤沈下観測井の常時監視体制について）  
質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。ついで、委員長から、意見のとりまとめ及び総合開発特別委員会の提出について、正副委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 委員長から、道外における公害状況調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ④ 池島 信吉委員（社会）から、環境アセスメント条例の制定方針及び審議会の作業促進について  
質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。

## 決算特別委員会

○昭和51年12月18日（土） 午後6時59分、第1委員会室において開議、午後7時6分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 田薊子 政太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてははかり、一野坪勉委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、佐藤幹夫委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、

伊藤知則委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、小堀秀次委員（社会）を副委員長に選出。

- ③ 委員会の今後の運営方法等協議のため午後7時3分休憩、午後7時4分再開。休憩中協議の結果、本委員会の運営については、自民、社会各2名、道政、公明各1名、計6名の理事を選び、その協議によりこれを行なうこと、及び共産はオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、伊藤知則委員（自民）、石山直行委員（自民）、中田繁夫委員（社会）、一野坪勉委員（社会）、村本三郎委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員会の申合せ事項（1 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。2 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。3 委員の交代は、原則として認めないこと。4 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。）についてははかり、異議なくそのように決定。
- ⑤ 今後の運営方法については、理事会において協議、決定することとした。
- ⑥ 今後の審査日程について、理事会協議のうえ、次回委員会において決定することとした。

○12月22日（水） 午後4時41分、第1委員会室において開議、午後4時50分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

- ① 議席についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 今後の審査日程について、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ③ 報告第2号（昭和50年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）を議題とし、総務部長から決算の概要について、代表監査委員から決算審査意見についてそれぞれ説明。
- ④ 決算審査に必要な資料についてははかり、異議なく次の27項目を要求することに決定。
  - (1) 行政管理庁の指摘（要望等）事項と措置状況
  - (2) 会計検査院指摘並びに措置状況
  - (3) 道監査委員の指摘事項と措置状況
  - (4) 繰越事業の経過調(49年度から50年度への繰越分)
  - (5) 昭和50年度決算における各土現、支庁毎の工事費、名称、金額
  - (6) 補助事業における国、道、市町村その他負担状況調
  - (7) 請負工事契約不履行状況調(設計変更一覧を含む)
  - (8) 河川敷地管理状況調
  - (9) 補助金支給調書（各団体名、交付金、助成金含む）

- (10) 各種団体に対する貸付金に関する調
  - (11) 企業誘致にかかる道税の課税免除額調（50年度）
  - (12) 公害パトロール状況とその結果、措置状況調
  - (13) 社会福祉の施設別国庫補助、国庫負担金の受入状況調
  - (14) 道立重症心身障害者施設、老人ホーム及び児童施設利用状況と収容区分調
  - (15) 第三セクターの決算調
  - (16) 農地移動状況調
  - (17) 公害監視委員の活動状況
  - (18) 有価証券、出資金、基金内容調
  - (19) 食品衛生監視費調
  - (20) 市町村地方交付税調（3カ年）
  - (21) 道警補助金交付団体及び関連団体の決算書
  - (22) 道警諸動回数延人員及び回数経費内訳
  - (23) ケースワーカー人員及び配置状況調
  - (24) 教職員の道内、道外採用人員及び予定者
  - (25) 札幌各道税事務所の組織、人員及び時間外勤務手当支給額
  - (26) 北海道納税推進運動本部の役員及び委員名簿
  - (27) 超過負担調
- ⑤ 報告第2号について、異議なく閉会中継続審査の扱いとすることに決定。
  - ⑥ 1月6日から17日までは委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。
  - ⑦ 書面審査室は、第3委員会室に設置することを了承。

○昭和52年1月18日（火） 午後1時59分、第1委員会室において開議、午後2時2分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

- ① 委員長から、さる12月22日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。なお、要求資料中、超過負担調については、調整次第配付することを了承。
- ② 決算審査に必要な資料の追加についてははかり、異議なく次の35項目を要求することに決定。
  - (1) 道営事業の経過調(1,000万円以上)〔格付業者名、落札に至るまでの経過及び道内外別・{1億円以上にかかる入札参加業者名(付表)}〕
  - (2) 各種審議会委員会等の諮問と答申の内容調（50年度）
  - (3) 各委託研究事項の件別実態調
  - (4) 交通安全協会、北方領土復帰期成同盟調
  - (5) 不納欠損処分調書（50年度税目別の滞納金額）
  - (6) 信用保証協会保証実績、代位弁済額及び担保、無担保別調書
  - (7) 北海道指定文化財整備状況調
  - (8) 道営団地会計調書（真駒内、大麻、北広島団地年

次別)

- (9) 調査費(委託によるものも含む)内容調
  - (10) 北海道土地開発公社決算と補助金の内容調
  - (11) 庁内所在の外郭団体決算状況調
  - (12) 農業開発公社の用地取得調(面積、金額、単価、地番、相手方)
  - (13) 地方振興奨励費の支庁別内容調
  - (14) 市町村振興基金及び市町村振興補助金の実績調
  - (15) 消費生活協同組合貸付状況及び決算調書(3カ年)
  - (16) 定期航路運航費補助金調
  - (17) 食品衛生強化対策費補助金調
  - (18) 農漁家林拡充整備費調
  - (19) 道税滞納者個人別調書(記号表示)(100万円以上)
  - (20) 道税不納欠損処分個人別調書(記号表示)(100万円以上)
  - (21) 料飲税滞納者に関する滞納処理状況調
  - (22) 食品衛生監視状況調(行政の実態)
  - (23) 広報活動の実態と経費区分
  - (24) 漁業権と漁獲の公平配分一覧表(権利、金額~個人別)
  - (25) 業者別、ランク別工事発注一覧表
  - (26) (通称)天下り人事についての調査
  - (27) 道職員中、警察、教職員、道職員の定員(実人員)調
  - (28) 昭和50年度派遣職員の状況調査(道以外の公社及び助成している団体)
  - (29) 昭和50年度公宅、自宅における電話月別使用料調(各部別、支庁別)
  - (30) 昭和50年度公宅における燃料(灯油)等の公費による供給状況(特別職を除く)
  - (31) 昭和50年度職業訓練校における時間講師に対する報酬の支払状況
  - (32) 公営住宅の50年度火災保険料調
  - (33) 道有財産(土地のみ)についての調書
  - (34) 機関委任事務及び団体委任事務に関する調
  - (35) 直轄事業負担金調
- ③ 1月19日から31日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○2月1日(火) 午後1時39分、第1委員会室において開議、午後1時41分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- ① 委員長から、1月18日の委員会決定に基づく資料及び前回未提出分の超過負担調についての資料の提出があった旨を報告。
- ② 2月2日から2月9日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○2月10日(木) 午前11時54分、第1委員会室において開議、午前11時56分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- ① 委員長から、2月1日の本委員会において未提出の要求資料のうち、配付の項目分が提出あった旨を報告。
- ② 2月11日から2月21日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○2月22日(火) 午後1時7分、第1委員会室において開議、午後1時9分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- ① 議席についてはかり、臨時的に着席のとおりとすることに決定。
- ② 未提出資料のうち要求項目60道有財産(土地のみ)についての調書の提出があった旨を報告。
- ③ 今後の審査日程等については、理事会で協議することに決定。
- ④ 書面審査室は休会中閉鎖することを了承。
- ⑤ 次回委員会の開催は委員長に一任することとした。

○3月30日(水) 午後7時32分、第1委員会室において開議、午後7時33分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- ① 委員長から、付託の報告第2号(昭和50年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件)について閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月31日(木) 午後1時52分、第1委員会室において開議、午後1時54分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- ① 委員長から、未提出資料のうち要求項目の51、52、59及び62の4項目についての資料提出があった旨を報告。
- ② 今後の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ③ 4月4日から16日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。
- ④ 書面審査室を第3委員会室に設置することを了承。

○4月18日(月) 午前10時54分、第1委員会室において開議、午後4時59分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

- 報告第2号を議題とし、総体質疑に入り、笠島 保委員(社会)から、50年度執行方針に関し、従来の形式及び内容の抜本的見直しに対する見解、道政の自主性と道民生活に密着した推進のあり方、道民

主体の道政の具体的な取組み方、議会及び各種委員会等の十分な機能発揮と地域反対運動に対する考え方、議会への資料提出のあり方、道職員の十分な活用方等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後零時14分休憩、午後1時36分再開し、引き続き、

笠島 保委員（社会）から、(1)天降り人事に関し、再就職先の俸給等の資料を提出できない理由、土木建築以外の取引業者への転職の実態、国家公務員の営利企業への就職制限にかわるべきものの有無と道の対処方法、元幹部職員の道庁における営業活動に対する見解、「再就職者取扱要綱」等の検討の考え、(2)機関委任事務に関し、知事の基本的考え方、当該事務に係る調査への取組み方とその進捗状況等について

質疑及び意見があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時44分休憩、午後3時49分再開し、総務部長から、休憩前の笠島委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

笠島 保委員（社会）から、(1)機関委任事務に関し、調査の範囲と事務量の増加状況、機関委任事務に係る窓口設置の考え、国による調査実施の要請、機関委任事務に係る国と地方自治体の関係のあり方、(2)財政の基本問題に関し、今日の財政状況に対する見解、50年度の収支見通しの的確性と道民への広報のあり方、赴任旅費等の経費節約の十分性、50年度経済白書と道経済不振に対する考え方、産業構造の改革と地場産業の振興との関連等について

質疑及び意見があり、知事及び総務部長から答弁。

○4月19日（火） 午前10時35分、第1委員会室において開議、午後5時43分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 報告第2号を議題とし、総体質疑を続行、

笠島 保委員（社会）から、(1)道税に関し、景気の影響を受けやすい道税の体質、50年度税収落ち込みの把握時期、地方税制の弾力性、租税特別措置の地方税への影響と見直しの要請方、地方税源強化等の知事会の要求の実現見通し、(2)道債に関し、地方債発行に係る他府県との比較、道債の限度額の考え方、赤字補てん債の割合、一時借入金の利子に対する国の補てん措置、地方債の許可事務一元化と縁故債の自由発行に対する見解、(3)超過負担に関し、解消の進まない理由、機関委任事務に係る超過負担の実態、人件費関連の高比率に対する見解と数量差等の改善方法等について

質疑及び意見があり、知事及び総務部長から答弁。議事進行の都合により午前11時48分休憩、午後2時再開し、休憩前の笠島委員の質疑に関連して、舟山 広治

委員（社会）から、農業改良普及費等に係る超過負担の内容、国庫委託費に係る超過負担の内容、超過負担全体の内訳等について、

笠島 保委員（社会）から、超過負担に関し、50年度における解消の状況、地方6団体の要望内容、市町村分の超過負担と道・市町村間の経費負担の適正化、機関委任事務の実態調査方と国への強力な超過負担の解消要求方等について（関連して、岩崎守男委員（社会）から、機関委任事務の調査終了の目途、市町村の超過負担に係る調査対象事業名、牛の予防注射に係る超過負担の解消状況等について）

質疑、意見及び要望があり、知事及び総務部長から答弁の後、中田委員から整理した答弁方の議事進行発言があり、午後4時56分休憩、午後5時42分再開し、本日の議事は、この程度とすることに決定。

○4月20日（水） 午前11時38分、第1委員会室において開議、午後3時38分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 報告第2号を議題とし、総体質疑を続行、

総務部長から、昨日の岩崎委員の質疑に対する補足答弁の後、岩崎委員から再質問があり、知事から答弁。

笠島 保委員（社会）から、総体質疑における説明員のあり方及び自治法、委員会条例との関連等について

発言があり、委員長から応答の後、議事進行の都合により午前11時56分休憩、午後3時37分再開。

② 4月21日から4月27日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○4月28日（木） 午前10時47分、第1委員会室において開議、午後5時25分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 委員長から、総体質疑における知事答弁及び説明員の取扱について報告。

② 審査日程の変更についてはかり、異議なく配付のとおり変更することに決定。

③ 報告第2号を議題とし、総体質疑を続行、

笠島 保委員（社会）から、(1)国庫支出金に関し、国庫補助のあり方と根本的な制度改定に対する考え方、各省庁縦割り補助に対する見解と道の主体性のあり方、予算化していない補助事業、政策予算の規模、国庫補助に伴う道の負担、民生関係事業への実績による精算方式の採用方、国庫支出金の裏負担による地方債の規模、道の補助を要件とする市町村に対する国庫補助事業並びに運用による負担義務のある事業、農業改良普及員等への交付税による措置の要請方、(2)地方交付税に関し、使途が拘束される傾向に対する考え方、普

通交付税の算定方式に対する見解、減収補てん債の償還費による影響、資金運用部からの借入れによる影響、(3)地方自治に関し、道の自治体としてのあり方等について

質疑、意見及び要望があり、知事及び総務部長から答弁の後、議事進行の都合により午後零時35分休憩、午後2時3分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、(1)綱紀肅正に関し、決算審査意見書における内容と考え方、知事通達に対する考え方と不正防止に対する監査委員の見解、通達内容の妥当性、不正事件の発生原因に対する考え方と防止対策、(2)財政問題に関し、今後の地方財政に対する認識と見通し、国の地方財政政策に対する考え方と改善要求の重点項目、地方交付税率アップに対する考え方、地方財政計画に対する見解と改善状況、50年度の超過負担の解消状況と知事の決意、(3)開発問題に関し、石狩湾新港の第三セクターからの丸紅に対する辞退申入れのその後の状況、苫東における企業立地の基本的考え方、石油立地の見通し、51年度末における用地取得価格、造成費及び経常経費等、(4)漁業問題に関し、領土返還要求に係る千島の範囲の考え方、千島におけるソ連の200海里法適用留保の要請方、漁業補償への取組み方等について

質疑、意見及び要望があり、知事、樫原副知事及び総務部長から答弁があって、総体質疑を終結。

○5月10日（火） 午前10時47分、第1委員会室において開議、午後3時30分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、道内における刑法犯の発生状況、犯罪の検挙率を高める方策、警察官の超過勤務の実態と超過勤務手当の支給状況、警察官派出所の設置基準、今後の整備計画等について

質疑及び意見があり、道警本部長、刑事部長、警務部長、警ら部長及び総務部長から答弁があり、午前11時59分休憩、午後1時10分再開。道警本部長から、休憩前の舟山委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

舟山 広治委員（社会）から、派出所、駐在所の設置要望の内容と受けとめ方及び新・増設計画等について、

中田 繁夫委員（社会）から、警察の経費負担に関し、警察法37条1項各号に基づく国費負担額、警察用車両にかかる道費負担の実態と国費による予算措置について要請方、ヘリコプターの維持管理費と行政効果、警察経費にかかる超過負担の内容と負担率が高い理由、解消についての努力方、未解決凶悪事件に対す

る取組み姿勢、刑法犯の検挙率アップの対策と犯罪予防対策、生活侵害事犯の傾向、青少年の非行の現状認識と対策、有機溶剤の販売に対する規制、取締まりの必要等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、刑事部長及び防犯部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

○5月11日（水） 午前10時30分、第1委員会室において開議、午後4時33分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 生活環境部に対する質疑に入り、

原 清重委員（社会）から、(1)道民運動に関し、道新生活運動協会に係る委託事業の内容と中央協会における事業計画立案への参画の有無、委託事業と新生活運動協会の自主性のあり方、道民運動と新生活運動の合体と補助金制度見直しとの関連、運動の進め方と方向づけの重要性、(2)野幌森林公園に関し、委託費の内容と予算に占める割合の妥当性、開拓の村建設に係る予算措置のあり方と建設見直し等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午後零時54分休憩、午後1時24分再開。ついで、

一野坪 勉委員（社会）から、(1)水質汚濁及び大気汚染に関し、本道における水質及び大気の汚染状況と対策の具体的内容、公共用水域における常時監視の具体的方法と検査回数 の十全性、公害監視委員の職務内容と権限強化及び待遇の改善方並びに人員配置の妥当性、苫東及び石狩湾新港開発に対応する公害監視施設整備の考え方、(2)公害防止資金に関し、貸付けの状況と公害防止に係る成果、工場及び事業場に対する公害の規制指導の実態等について、

岩崎 守男委員（社会）から、(1)交通信号のメロディー化の実態に関し、メロディー化の現状と国の補助内容、今後の設置計画、(2)交通安全運動と道費補助に関し、婦人交通指導員の設置経緯と勤務の実態、災害補償及び報酬内容とその改善方、交通安全推進委員会の設置状況とその成果、交通安全運動とボランティア活動との関連、交通指導協力者の災害補償の内容と改善方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長及び交通安全対策事務局長から答弁。

○5月12日（木） 午前11時4分、第1委員会室において開議、午後5時23分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 生活環境部所管に対する質疑を続行、

岩崎 守男委員（社会）から、苫小牧公害防止セン

ター及び伊達地方公害監視室に関し、その現況、職員数の十全性、市職員派遣の妥当性及び廃止の意思、水質検査測定回数と環境庁の基準とのそご、現行監視体制に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午後零時14分休憩、午後1時45分再開。引き続き、

岩崎 守男委員（社会）から、公害防止協定締結における道の立場及び締結当事者になることと立会人となることの相違とその根拠並びに立場の相違による器械等の設置義務の相違に対する見解、公害発生企業による測定器械等施設設備借用の妥当性及び測定者の十全性、監視局の配置及び観測エリア決定の基準等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午後3時8分休憩、午後3時23分再開。ついで、

牧野 唯司委員（公明）から、(1)交付金、補助金に対する基本的考え方及びその金額、枠設定の妥当性、貯蓄奨励費補助金の内容、交通安全関係補助金の見直し、(2)各種調査に対する基本的考え方、物価動向、テレビ難視聴対策等各種調査の結果と対策、難視聴対策としての中継局設置における市町村負担決定の基準及び国への働きかけの有無、(3)環境緑化保護地域の指定等各種指定と道の管理責任との関係、道立自然公園施設整備における全額道費負担の考え、(4)真駒内体育競技施設の国費による維持管理の要請及び施設の効果的運営等について、

本間 喜代人委員（共産）から、日本電工旧栗山工場のクロム災害に関し、50年8月25日以前における補償交渉の経過及び副社長との交渉内容並びに会社負担の50年度汚染対策事業費金額とその内訳、49年以前における道の調査回数、調査の程度及び所要資金、補償交渉における道の態度等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長及び交通安全対策事務局長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○5月13日（金） 午前10時47分、第1委員会室において開議、午後4時46分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 民生部所管に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員（社会）から、(1)理学及び作業療法士に関し、療法士の民生上に果たす役割及び必要性に対する認識、療法を要する心身障害者数及び療法士の現状と配置状況並びに有資格者の充足策、修学資金制度の実態と効果、(2)手話通訳者に関し、手話通訳を要する聴覚障害者数、手話通訳者の配置状況と今後の方

針及び身分と待遇、ボランティア活動による手話奉仕員の現状と養成事業の概要、待遇の改善と身分保障の考え方及び養成機関設置の必要性、民間活動に対する積極的な援助体制等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後零時休憩、午後1時46分再開。ついで、

笠島 保委員（社会）から、(1)財産管理に関し、社会保険中央病院敷地の長期間無償貸付の根拠と経緯、貸付料率に対する考え方、同一財産の資料上の不適合と契約等の是正、減額譲渡率の不統一に対する見解、(2)日本赤十字社に関し、地方公共団体との関連、道職員の委嘱の実態と担当業務及び定数との関連、日赤の任務と道行政との関連と基本的なあり方等について 質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後3時12分休憩、午後3時28分再開。ついで、

原 清重委員（社会）から、ウタリ対策に関し、長期計画の樹立と国との関連、補助金交付の方法、ウタリ協会に対する補助事業と協会未加入者の取扱い、ウタリの認定の考え方、地区対策事業の基準、ウタリ対策実施上における道と協会の役割、住宅改良事業の実施方法の適否、旧土人保護法に対する見解と給与地の実態調査の目的及び調査結果、共有財産の管理状況等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

② 5月14日及び16日は委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○5月17日（火） 午前10時50分、第1委員会室において開議、午後2時57分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 民生部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午前10時51分休憩、午前10時55分再開。

② 衛生部所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、と畜検査体制に関し、と畜頭数の現状と今後の推移、と畜場の実態と設備の状況及び施設の大規模化に対する見解、と畜検査の結果、検査員1人当りの頭数と厚生省の基準との関連、機器の整備及び職員の研修等の検査体制の整備方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により午前11時51分休憩、午後1時32分再開。引き続き、

舟山 広治委員（社会）から、道生薬公社の運営に関し、同社の決算状況と道の出資金等の現状、赤字解消の見通しと50年度の措置内容、製品生産及び消費の推移に対する見通し、同公社と東道生薬共伸社との関係、今後の経営方針及び農業政策との関連等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

○5月18日(水) 午後1時12分、第1委員会室において開議、午後4時12分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

○ 衛生部所管に対する質疑を続行、

衛生部長から、昨日の舟山委員の質疑に対する補足答弁の後、舟山広治委員(社会)から発言。ついで、

一野坪 勉委員(社会)から、救急医療対策に関し、医療制度に対する基本的考え方、本道における「たらい回し」の実態、国及び地方公共団体の責任並びに医師の応診義務に対する見解、医師及び看護婦の不足並びに変則的な分布状態に対する考え方、医師会に対する補助金の使用内容、救急告示医療機関における公的病院の割合、道保健医療対策協議会の中間報告における第2次保健医療圏に対する考え方、第3次救急医療体制の整備計画、救急患者の搬送と受入れの一元化の必要性、休日・夜間診療所の増設計画並びに助成措置の十全性、在宅医の当番制の初期医療体制に対する考え方等について、

岩崎 守男委員(社会)から、道伊達地方環境監視室に関し、同監視室に係る所管部、建設経費、竣工時期及び所有権の所在、テレメーター設置に係る今後の方針等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により午後3時9分休憩、午後4時11分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○5月19日(木) 午後4時53分、第1委員会室において開議、午後4時54分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

○ 本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○5月20日(金) 午後3時33分、第1委員会室において開議、午後4時1分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

① 衛生所管に対する質疑を続行、

衛生部長から、5月18日の岩崎委員の質疑に対する補足答弁の後、生活環境部長から、5月12日の答弁についての一部訂正発言があり、引き続き、

岩崎 守男委員(社会)から、道伊達地方環境監視室に関し、同室の建築基準法施行令違反の責任と移転に要する費用及び時期、公害行政に係る道の機構一元化に対する見解、公害の資料収集に係る北電職員の関与のあり方、テレメーター等の機器の老朽化対策等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

② 明21日及び23日は委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○5月24日(火) 午前10時32分、第1委員会室において開議、午後4時46分散会、委員長 佐藤 幹夫(自民)

① 衛生部所管に対する質疑を続行、

牧野 唯司委員(公明)から、(1)補助金、貸付金問題に関し、救急医療センター整備費補助制度の内容と効率的な活用の考え方並びに救急医療センターの設置状況と市町村の負担割合、老人病床確保対策補助金の実績と十分な活用のための検討、道民健康センター整備費補助金の内容と果たしている役割、自治医科大学の運営について、卒業後の就任先及び身分保障等の考え方、修学生と道の負担金との関連及び勤務の条件、理学及び作業療法士修学資金について、道内の有資格者数と就業状況及び必要総数、貸付制度の見直しの考え、(2)保健医療に関し、調理士国家試験における不正受験の事実関係及び道のとった措置と今後の対応策、(3)公衆浴場に関し、道内の現状と今後の方策及び公営化の考え、国の施策と専門的な協議機関の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により午前11時45分休憩、午後1時11分再開。ついで、

本間 喜代人委員(共産)から、(1)公的病院の経営に関し、赤字の原因と対処策及び診療報酬単価改正の積極的な働きかけ、(2)救急医療と看護婦養成に関し、道内における潜在看護婦の状況、民間看護婦養成機関及び救急医療の取扱い病院、診療所数、基準財政需要額算入の必要性、施設費に対する長期低利融資の制度化、休日夜間救急センター設置費の市町村負担割合の軽減の考え等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があった。衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後1時46分休憩、午後1時49分再開。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

寺崎 政朝委員(自民)から、(1)森町土地改良区補助事業に関し、森町土地改良区の概要、函館方面本部からの捜査資料請求の経過、会計検査院及び道の実施した検査の状況、検査結果意見と捜査との関連とこれに対する見解、補助事業の設計内容と発注の状況、補助金等の執行上に対する見解、行政処分等の措置の有無と今後の具体的な対応策、森土地改良区等からの事情聴取等の有無と再調査の結果及び積極的な指導等について(関連して、本間喜代人委員(共産)から、道の事件了知の時期と道養豚振興資金返還との関連等について)

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

議事進行の都合により午後3時9分休憩、午後3時21分再開し、農地開発部長から、休憩前の本間委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

本間 喜代人委員（共産）から、養豚組合と森町土地改良区との関連、土地改良区組合員の確認状況、事件に対する部の認識、調査の方法とその妥当性等について

質疑及び意見があり、農地開発部長から答弁。議事進行の都合により午後3時50分休憩、午後3時57分再開し、答弁調整のため引き続き午後3時58分休憩、午後4時44分再開し、農地開発部長から、休憩前の本間委員の質疑に対する補足答弁の後、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○5月25日（水） 午後2時4分、第1委員会室において開議、午後4時45分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 農地開発部所管に対する質疑を続行、

本間 喜代人委員（共産）から、森町土地改良区問題に関し、不正事件に係る農地開発部の調査の十分性、土地改良区のレポート取得と補助金等適正化法との関連、現職警官が関係業者の役員になっていることに対する見解、森土地改良区の負債額と農民負担との関連及び道の対策、土地改良区に係る検査報告書の提出方等について、

舟山 広治委員（社会）から、道営事業の実施及び工事発注に関し、道営土地改良事業に係る市町村等の協力のあり方、経済発展に寄与する事業実施と地場業者に対する考え方、工事発注に係る格付業者の状況並びに道内業者と道外業者の比率、共同企業者への発注率と考え方、中小業者の育成に対する今後の取組み方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

○5月26日（木） 午前10時28分、第1委員会室において開議、午後3時47分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 労働部所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、職業訓練行政に関し、職業訓練の高度化に対する考え方、高校卒業者の受け入れに対する見解、今後の訓練校の進み方と科目の再編成の考え方、地域的事情への配慮方、指導員の質の向上策、時間講師の待遇のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。議事進行の都合により午前11時54分休憩、午後1時9分再開。引き続き、

岩崎 守男委員（社会）から、勤労者住宅建設資金

融資制度に関し、道の資金量の十分性、労働者に係る住宅政策のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後1時52分休憩、午後2時再開。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

笠島 保委員（社会）から、道営住宅の建設、管理運営に関し、世帯数と住宅の現状把握と住宅計画の推進、公営住宅建設の比率低下に対する見解、建設単価アップの状況、道営住宅の建設増の考え等について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により午後2時59分休憩、午後3時33分再開し、住宅都市部長から、休憩前の笠島委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

笠島 保委員（社会）から、住宅建設に係る市町村の超過負担の状況、道第2期住宅建設5カ年計画の建設戸数の算出根拠について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により午後3時38分休憩、午後3時46分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○5月27日（金） 午後2時45分、第1委員会室において開議、午後2時46分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○5月31日（火） 午前11時10分、第1委員会室において開議、午後5時1分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 住宅都市部所管に対する質疑を続行、

住宅都市部長から、5月27日の笠島委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

笠島 保委員（社会）から、道営住宅の建設、管理運営に関し、道営住宅の空き家の状況と原因、北広島団地における今後の住宅建設の考え方、道営住宅の管理の市町村への委託における超過負担の実態、家賃における火災保険料相当額の内容等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により午後零時8分休憩、午後1時40分再開。ついで、

岩崎 守男委員（社会）から、福祉住宅売渡しに関し、住宅政策のあり方、道営を第1種住宅中心にしている理由、福祉住宅売渡しに係る返済期間と市町村の財政負担軽減との関連等について、

中田 繁夫委員（社会）から、住宅供給公社、土地開発公社の保有地についての諸問題に関し、先行取得した経過とその仕組み及び処分の見通し、保有地に係る金利負担による地価への影響、大曲団地に係る土地

取得原価とその妥当性及び今後の開発計画、南里団地の土地取得の考え方と今後の開発予定等について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。  
議事進行の都合により午後3時38分休憩、午後4時28分再開し、住宅都市部長から、休憩前の中田委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

中田 繁夫委員（社会）から、(1)南幌団地の土地取得の考え方と今後の開発の進め方及び土地処分の見通し、(2)現状有姿に関し、実態の把握状況と今後の対策、(3)分離発注に関し、道営住宅建設における分離発注の実績と積極的な推進方等について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○6月1日（水） 午後1時18分、第1委員会室において  
開議、午後5時17分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 住宅都市部所管に対する質疑を続行、

牧野 唯司委員（公明）から、(1)住宅問題に関し、公営住宅の管理運営に係る道と市町村の割合、道営住宅建設事業を3区分した目的と住民への周知徹底方、福祉住宅の譲渡に係る法の解釈と道福祉住宅建設条例の考え方、寡婦住宅の市町村への譲渡の考え方、道営住宅改良調査費の内容と今後の方針、道営住宅の建設用地における民有地の割合と借地料の推移及び買上げに対する考え方、高層住宅における自転車置き場対策、公営住宅生産工業化推進事業資金貸付金の内容とその成果及び今後の進め方、(2)下水道問題に関し、石狩川流域下水道の完成見通しと市町村の負担内容及び供用開始時期、函館湾流域別下水道の事業内容、日本下水道事業団の内容と助成の考え方、(3)公共事業に関し、人件費に係る国費負担のあり方、(4)補助金、交付金に関し、炭鉱住宅改良促進補助に係る住宅の管理関係、湖沼汚濁防止に係る助成内容、道の市町村への事務委任に係る超過負担に対する見解等について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。  
議事進行の都合により午後2時59分休憩、午後3時22分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、道営住宅に関し、監理員と管理人の現状、入居者の修繕申込みの仕組みと取扱い方及び住宅管理の状況、管理人の整備と待遇の改善方、入退き時における入居者負担の修繕の実態と新しい基準の内容、緊急修繕の達成状況、家賃値上げの手続と進み具合及び今後の値上げに係る取扱い方等について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁が  
あって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 明6月2日から6日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○6月7日（火） 午前10時37分、第1委員会室において  
開議、午後3時20分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 審査日程の変更についてはかり、異議なく配付のとおり変更することに決定。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、(1)貸付金に関し、造林事業の停滞に対する考え方、林務部関係の貸付金の種類及びその役割、道木材市場組合の構成と内容及びその赤字状況、同組合に対する道の指導内容、貸付金の道木連への一括交付方式の妥当性と下部組合への十分な指導の可能性、(2)工事発注に関し、発注業者の現況、道外業者に対する発注の考え方等について  
質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁が  
あって、林務部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時24分休憩、午後1時42分再開。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、観光公施設整備事業補助金に関し、同補助金交付規則の趣旨とその運営状況、釧路管内音別町の公園整備に対する補助の考え方、同公園敷地の売却と規則17条の知事の承認との関連並びに今後の解決方針等について  
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。  
議事進行の都合により午後2時39分休憩、午後2時51分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、商調法に関し、同法3条に係る運用通達の具体的内容と道の対処方針及び対象地域拡大の考え、既設未許可小売市場の実態等について  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁が  
あって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

○6月8日（水） 午前10時28分、第1委員会室において  
開議、午後1時59分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 土木部所管に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員（社会）から、道路の維持管理に関し、国道の指定基準、道道の国道昇格によるメリットと今後の要望方針、市町村道の道道昇格実績が減少傾向である理由、道路の改良及び舗装に対する考え方、道路の改良率及び舗装率に係る発展計画の目標の達成見通し、歩道の設置促進の考え方、道路の管理瑕疵に対する見解、危険区域の把握状況とパトロール体制強化等の未然防止策、道路の維持管理に対する基本的見解等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。議事進行の都合により午前11時35分休憩、午後1時9分再開。ついで、

舟山 広治委員（社会）から、(1)財産管理に関し、琴似発寒川における河川敷地の現況と関係住民との協議状況、(2)工事発注に関し、下位ランク業者の全工事に占める割合に対する考え方、受注機会の拡大への取組み姿勢、道外業者に対する発注の考え方等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○6月9日（木） 午前10時28分、第1委員会室において開議、午後4時16分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 土木部所管に対する質疑を続行、

牧野 唯司委員（公明）から、(1)公共事業費に関し、国直轄事業負担金の負担予定額の通知内容と時期及び支払い方法並びに工事諸費における人件費の内容、国庫補助事業における事務費及び職員費の割合並びに道職員の給与と定額による国庫補助の増額要請に対する考え方、(2)不用額に関し、当初予算における過大見積りの有無と補正予算のあり方、(3)派遣職員に関し、土地開発公社における派遣職員の経費負担に係る基準の有無、派遣職員と定数条例との関連、(4)委託金及び調査費に関し、市町村に対する除雪委託に係る超過負担の有無、樋門機関の操作委託の状況と委託料増額の考え、土地開発公社に委託した河川敷地の公共用地調査の内容と現況並びに当該債務負担行為の償還方法、河川法改正による河川敷地決定に係る方針等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。議事進行の都合により午前11時43分休憩、午後1時56分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、(1)石狩湾新港管理組合に関し、管理組合準備室の事業経過、組合設立に係る問題点と経費の負担割合に係る現状、組合設立までの経費負担の考え方、木材取扱いに係る小樽港への影響と石狩湾新港におけるラッシュ船受入れの考え方、フェリー受入れの考え、組合設立の見通し、(2)道道小樽海岸公園線の現況と将来構想、流雪溝の現状と効果等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があった。土木部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時10分休憩、午後3時16分再開。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、道農業会議と道農政に関し、農業会議の答申と道の取組み姿勢、農業会議と道の相互関係のあり方等について、

本間 喜代人委員（共産）から、農業機械問題に関し、農業機械による作業事故の調査方法の確立、農機具メーカーに対する指導方、安全装置に係る機械改良に対する資金対策、安全対策推進の予算措置のあり方と対応する行政機構の整備等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があった。農務部所管に対する質疑を終結。

○6月10日（金） 午前11時30分、第1委員会室において開議、午後零時25分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、漁業協同組合の運営に関し、不祥事件の発生原因とその背景に対する見解浜中漁協に係る水産業協同組合法123条に基づく検査請求の取扱い内容と検査方法のあり方、行政の指導監督の徹底方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があった。水産部所管に対する質疑を終結。

② 明11日及び13日は委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○6月14日（火） 午前11時16分、第1委員会室において開議、午後3時20分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

小野 秀夫委員（道政）から、苫東開発に関し、石油に係る需給見通しの参考資料、62年度における石油生産量の予測と総合エネルギー調査会需給部会の石油輸入に係る下方修正の影響等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁。議事進行の都合により午前11時53分休憩、午後1時55分再開し、大規模工業基地開発事務局長から、休憩前の小野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

小野 秀夫委員（道政）から、石油精製に係る既存工場の拡張余地と新規設備投資との関連、石油必要生産能力に係る苫東調査委員会報告と現時点における見通しとの相違に対する見解、石油精製の56年度操業開始の実現可能性、石油化学に係る苫東調査委報告と現時点における見通しとの相違に対する見解、石油化学の55年立地の見通し、苫東調査委への民間人起用の考え、苫東開発と国の政策との関連等について質疑及び意見があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁。

○6月22日（水） 午前11時24分、第1委員会室において開議、午後4時15分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 委員長から、委員会から要求した資料の提出がなされている旨を報告。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

岩崎 守男委員（社会）から、タンチョウヅルの保

護増殖センター整備の基本的な考え方、経費の負担区分について道・市の負担割合と52年度に道費補助の減額措置の当否、今後の補助の考え方等について質疑、意見及び要望があり、教育長及び文化課長から答弁があって、午後零時16分休憩、午後2時18分再開し、引き続き、

岩崎 守男委員（社会）から、高校適正配置に関し、通学条件に対する配慮、大学区制のデメリットについての認識、釧路第一高校の募集停止に伴う白糠、阿寒の間口増と通学列車、バスの確保、釧路市の新設校計画の内容等について、

一野坪 勉委員（社会）から、PTAのあり方と学校後援会費的な予算支出についての見解、義務教育の無償の意義と実態及び教育条件整備の状況、PTAの公教育費支出の実態把握と父兄負担解消についての道教委の姿勢、特別活動費について部活動の位置づけと公費負担の必要性、修学旅行付添旅費の公費配分基準とPTAの負担の実態、特殊学校の教育費の父母負担解消の努力方等について  
質疑及び意見があり、教育長から答弁。

○6月23日（木） 午前10時53分、第1委員会室において開議、午後4時24分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 教育委員会所管に対する質疑を続行、

本間 喜代人委員（共産）から、就学援助費に関し、給与限度額の引上げ策と今後の見通し、認定に係る指導方針、200カイリ問題に係る漁業労働者の子弟に対する就学援助の枠の拡大及び特別措置の必要性等について  
質疑及び意見があり、教育長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午前11時8分休憩、午前11時9分再開し、引き続き議事進行の都合により午前11時10分休憩、午後1時48分再開。

② 総務部及び各種委員会所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、(1)道有備品の管理に関し、歴史的な価値のある道有備品の保存管理の考え方、(2)領土返還運動に関し、行政と民間運動との関連、民間団体に対する道費助成の成果、「北方領土」という表現の妥当性と返還要求の範囲等について、

笠島 保委員（社会）から、(1)道有財産の管理に関し、公有財産台帳への登載漏れの実態と監査における指導、山林の売却及び取得に係る内容、自治講習所の寄宿舎の跡地に係る管理と個人への貸付け部分の取扱い、旧避病院の敷地における財産管理の状況、道有財産の貸付料の算定方法、トラック協会と社会福祉法人・美松善隣会とに対する財産売却における減額幅の格差の理由、サケ・マスふ化場の国への無償貸付けの考

え方、(2)電話料の取扱いに関し、電話料の公費負担の実態、新しい通達の施行に当たっての考え方等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、領土復帰北方漁業対策本部長及び監査委員事務局長から答弁。

○6月24日（金） 午前11時5分、第1委員会室において開議、午後3時16分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

○ 総務部及び各種委員会所管に対する質疑を続行、

牧野 唯司委員（公明）から、(1)知事公約に関し、総務部審議室の分掌事務内容と同室のあり方、公約事項に係る成果の道民への周知方法、財政主導型の道政に対する見解、(2)人事管理に関し、公社、団体等への派遣職員の考え方並びに定数条例との関連、道の補助団体、土地開発公社及び農業開発公社等への派遣職員に係る給与道費負担の考え方、(3)財政問題に関し、家畜伝染病予防手数料の徴収委任に伴う市町村への交付率に対する考え方、漁港管理市町村交付金に係る検討方、農業基本調査に係る市町村交付金の予算計上の仕方、交付金の性格と精算交付金に対する考え方、決算資料の提出の仕方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時33分休憩、午後2時12分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、(1)私学問題に関し、公立と私立の格差要因とその是正に対する考え方、私立高校の学級定数に対する今後の方針と既設校に対する対処方法及び道の助成措置の考え方、(2)綱紀粛正問題に関し、不祥事件に対する調査結果と発生原因に対する考え方、(3)外郭団体に関し、道自衛隊協力会連合会及び国連大学誘致促進期成会が庁内にある経緯とその必要性等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

○6月28日（火） 午前11時14分、第1委員会室において開議、午後2時24分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

① 知事に対する総括質疑に入り、

舟山 広治委員（社会）から、北海道生業公社の運営に関し、再建に対する知事の考え方、公社設立の趣旨と補助金のあり方及び新たな対処の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時36分休憩、午後1時6分再開。ついで、

原 清重委員（社会）から、ウタリ共有財産に関し、道旧土人共有財産管理規程の効力の有無と共有財

産の現状及び運用の実態並びにウタリ会館の建設資金への充当の考え、ウタリ福祉対策長期計画に基づく十分な施策の展開とアイヌ無形文化伝承保存会への助成方、住宅改良貸付事業に係る条例未制定の市町村への指導方、ウタリ会館の早期建設方等について、

本間 喜代人委員（共産）から、森町土地改良区問題に関し、同地区における相つぐ不正事件に対する見解と道の指導内容、同土地改良区の不正事件に対する早期調査の十分性とその後の経過、道の同土地改良区に対する検査報告の公表方と不正事件防止に対する措置内容、現職警官が関係業者の役員であったことに対する見解、同土地改良区に対する補助金の返還命令をする考え等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

- ② 付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。

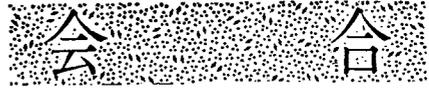
○6月29日（水） 午後2時14分、第1委員会室において開議、午後2時16分閉会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、報告第2号について意見の一致をみるに至らなかった旨を報告の後、

報告第2号（昭和50年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）を議題とし、討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立多数をもって意見を付し認定議決と決定。（付帯意見は、委員長報告参照。）委員長報告については、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

注 総合開発調査特別委員会の3月31日以降の動きについては、次号以降に掲載いたします。



## 全国都道府県議会議長会

○4月7日（木） 全議会議室において役員会を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、新任の滋賀県議長、鳥取県議長、愛媛県議長及び熊本県議長の紹介があり、会長から、副会長が2名欠員である旨の報告の後、協議に入り、昭和52年度本会行事計画について、全議事務局長から説明の後、原案のとおり決定。国体協賛の都道府県議会議員野球大会について、全議事務局長から説明の後、原案のとおり決定。ついで、共済年金制度改善推進小委員会の中間報告について、委員長（北海道議長）から、同小委員会の審議経過並びに自民党地方行政部会年金問題小委員会の審議経過について報告があり、これを了承。次に、会長から、都道府県議会議員の叙勲基準の上げを引き続き政府に要望する旨の発言があり、これを了承して、閉会した。

○6月15日（水） 全議会議室において地方制度委員会を開催。委員長（青森県議長）のあいさつに引き続き、自治大臣官房長から、地方行政の現状と問題点について説明の後、新任議長の紹介があって、協議に入り、各ブロック提出議案及び委員長提案について、委員長において整理統合した6議案を、順次審議のうえ、いずれも原案のとおり決定し、役員会及び定例総会における委員長報告及び議案の修正、要望項目の追加等につき委員長に一任することに決定して、閉会した。

○6月16日（木） 都道府県会館別館において建設商工運輸委員会を開催。委員長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、建設大臣官房総務審議官、中小企業庁次長並びに運輸大臣官房政策課長から、それぞれの所管行政の現状と問題点について説明の後、協議に入り、定例総会に提出する12議案について一括審議のうえ、いずれも原案のとおり決定し、役員会及び定例総会における委員長報告の内容及び案文修正及び整理について委員長に一任することに決定して、閉会した。

○6月16日（木） 都道府県会館別館において合同委員会を開催。座長（会長＝東京都議長）のあいさつに引き続き、政治評論家細川隆一郎氏の「参議院議員選挙と今後政の局について」と題する講演を聴取の後、新任正副議長の紹介があり、閉会した。

○6月16日（木） 都道府県会館別館において臨時総会を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、議長

に会長を選出して、協議に入り、欠員中の副会長に長野県、福井県及び徳島県議長を選任することに決定。会長から、任期満了のあいさつがあって、閉会した。

## 都道府県議会議員共済会

○6月16日(木) 全議会議室において理事会を開催。会長(東京都議長)のあいさつの後、協議に入り、代議員会の運営方法及び昭和51年度決算報告について了承の後、副会長の互選及び監事の補欠選任について、関東ブロックから選出することに決定。ついで、事務局規程の一部新設について、参与会形式で検討することとして、閉会した。

○6月16日(木) 都道府県会館別館において代議員会を開催。会長(東京都議長)のあいさつに引き続き、議事に入り、まず、昭和51年本会決算について、事務局から説明、監査結果の報告があって、異議なくこれを認定。次に、任期満了に伴う監事の選任について、関東ブロック推せんの代議員を選任することに決定し、閉会した。

## 10都道府県議会議長会

○1月26日(水) 東京都において開催。地元東京都議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、協議に入り、まず、静岡県副議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議、決定し、関係方面に要望することとした。ついで、次回開催地を愛知県に決定の後、全議事務局長から、地方財政対策の概要について説明があり、閉会した。

- 1 200海里漁業専管水域設定について
- 2 私立学校の振興助成強化について
- 3 新海洋法について
- 4 ガン予防対策の法制化について
- 5 がん予防の法制化について
- 6 漁業振興対策の拡充、強化について
- 7 母性保障法(仮称)の制定について
- 8 母子家庭の母と寡婦の雇用促進について
- 9 地方財政の危機打開について

○4月18日(月) 愛知県名古屋市中において開催。地元愛知県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出して、協議に入り、まず、東京都副議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定のうえ、東京都議長から、昭和50年度本

会経常決算報告を行い、これを了承。全議事務局次長から、第80回国会提出法律案件名及びその成立状況について説明があり、次回開催地を京都府に決定して、閉会した。

- 1 母子家庭の母等の雇用促進法の早期制定について
- 2 救急医療体制の確立について
- 3 水産行政の体制拡充について
- 4 国民医療の確保について
- 5 テレビ電波受信障害の解消について
- 6 青少年に有害な社会環境の排除について
- 7 医薬品卸売業の構造設備基準等の整備について
- 8 農作物の寒冷被害救済について
- 9 「水産保険制度」の早期確立について

## 北海道東北6県議会議長会

○4月27日(水) 宮城県仙台市において開催。地元宮城県議長、知事及び仙台市長のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、山形県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定し、議決事項の処理方法については地元議長に一任することに決定。ついで、次回開催県を福島県に決定の後、全議共済会次長から最近における中央情報について説明があり、閉会した。

- 1 消防力強化に対する国の助成措置の拡充について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 簡易水道等施設整備に対する国庫補助制度の改善について
- 4 産業廃棄物の処理対策の充実強化について
- 5 東北新幹線の建設促進について
- 6 大規模小売店舗法の整備について
- 7 エネルギー資源の開発促進について
- 8 公設試験研究機関の整備事業に対する助成制度の充実強化について
- 9 りんご腐らん病及びリンゴモニア病防除対策の推進について
- 10 200海里漁業専管水域設定に伴う漁業経営の安定対策について
- 11 冷害に対する恒久対策の確立について
- 12 豪雪地帯対策の拡充強化について

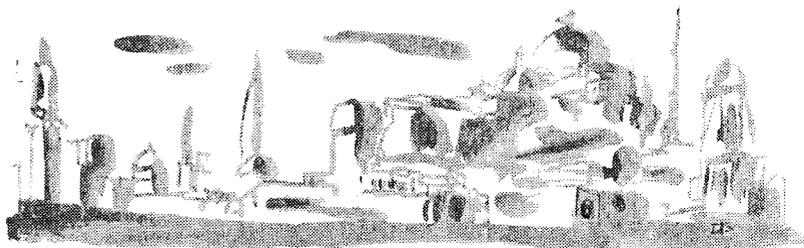
## 東北自治協議会

○4月19日(火) 都道府県会館において総会を開催。会長(宮城県知事)のあいさつに引き続き、新会員の紹介、事務局長の事務報告があって、議事に入り、次の事項について協議し、閉会した。

- 1 昭和51年度東北自治協議会一般会計歳入歳出決算について
- 2 昭和51年度東北自治協議会職員退職金特別会計歳入歳出決算について
- 3 昭和52年度東北自治協議会運営方針（案）について
- 4 昭和52年度東北自治協議会一般会計歳入歳出予算について
- 5 昭和52年度東北自治協議会職員退職金特別会計歳入歳出予算について
- 6 昭和52年度地方交付税の基準財政収入額伸び率の調整について
- 7 200カイリ漁業対策の強力な推進について
- 8 東北・上越新幹線鉄道及び青函トンネルの建設促進について
- 9 高速自動車道の建設促進について
- 10 昭和51年冷害対策の継続実施について
- 11 豪雪地帯対策の拡充強化について
- 12 北方領土の復帰促進について
- 13 第3次全国総合開発計画に東北地方の位置づけを明確にすることについて
- 14 東北開発促進法の抜本的改正について

### 東北新幹線建設促進期成同盟会

○6月15日（水） 全共連ビルにおいて常任理事会を開催。会長（宮城県議長）のあいさつに引き続き、議事に入り、第11回通常総会の提出議題及び陳情書案について了承の後、国鉄新幹線工事第2課長から、今後の見通しについて説明があり、閉会した。



## 4 月 の メ モ

- 1 ○国土庁、52年地価公示価格(1月1日現在)を公示。  
全国の地価変動率は、前年同期に比べ平均1.5%上昇。本道は平均2.6%上昇で、なかでも住宅地価格は3.7%アップ。  
○佐世保市議会、原子力船「むつ」受入れ諮問案を賛成多数で可決。30日、臨時長崎県議会、「むつ」核抜き受入れに同意。
- 4 ○国鉄、経営改善計画を運輸相に提出。大都市間輸送に重点、ローカル線、貨物など不採算部門の大幅切捨てを打出す。また、55年度まで5万人の要員合理化を見込む。  
○農林省、「北洋漁業緊急対策本部」を設置。減船、休漁などに対する救済措置を一本化。
- 5 ○園田官房長官、日ソ漁業交渉の行詰まり打開のため福田首相特使としてモスクワ入り。7日、コスイギン首相との会談で交渉再開を合意。
- 7 ○カーター米大統領、新しい核エネルギー政策を発表。商業用核燃料再処理の無期延期など7項目。27日、「1977年核拡散防止法案」を議会に提出。
- 8 ○閣議、「51年度農業の動向に関する年次報告」(農業白書)を了承。農業生産は米を除き横ばい、農家経済の向上のため経営規模拡大を図るべきと指摘。  
○道、50年度道民所得推計結果(確定値)を発表。道内純生産(生産所得)は5兆5,059億円で前年度比8.1%伸び、実質1.8%の微増。
- 11 ○北炭、再建合理化問題をめぐる労使交渉において、夕張新二鉱閉山を正式提案。
- 12 ○道、51年度版北海道経済白書(道経済実相報告書)を発表。経済規模の全国シェアは次第に低下、政府の資本形成の比重が依然として高い。  
○政府、「整備5新幹線についての関係関係会議」を開き、凍結、されている整備5新幹線＝北海道、東北(盛岡以北)、北陸、九州、長崎＝について、「環境等を含め徹底した調査をする」ことを決定。  
○赤平市選挙管理委、1票差をめぐり最高裁まで争われていた50年4月の市議選について、市議事堂で更正選挙会を開き、クジ引きの結果、当初落選した候補が逆転当選。
- 13 ○衆院ロッキード問題調査特別委、自民党の中曽根康弘元幹事長を証人喚問。
- 14 ○日ソ漁業暫定協定交渉、中断。同協定の適用水域問題で対立。
- 16 ○参院本会議、52年度予算案が可決成立。一般会計歳出規模28兆5,143億円。
- 19 ○閣議、「51年度林業動向に関する年次報告」(林業

白書)を了承。住宅の需要に対応し、質より量の体制を作るべきとしている。

- 22 ○道、昨1年間の本道の人口動態まとめる。死亡率は史上最低、出生率も昭和41年(ひのえうま)に次ぐ低率、離婚は全国一。
- 24 ○わが国初の高速増殖炉の実験炉「常陽」が臨界に成功。米国、ソ連などに続き5番目、「常陽」は世界で13基目。
- 27 ○日ソサケ・マス交渉、中断。合意議決書に盛り込む200カイリ外の表現で対立。
- 29 ○ソ連、日ソ漁業条約の廃棄通告。21年間続いてきた同条約は事実上終わりを告げ、日ソは200カイリ新時代を迎え、漁業関係は新展開へ。

## 5 月 の メ モ

- 1 ○厚生省、50年度国民医療費推計を発表。6兆4,779億円で、対前年度比20.4%の伸び、国民1人当たり5万7,871円（対前年度比18.6%アップ）。
- 総理府統計局、51年10月1日現在の推計人口を発表。総人口1億1,309万人、戦後生まれの割合が50.5%と初めて半数を超えた。
- 2 ○参院本会議、海洋二法（領海法と200カイリ漁業水域法）成立。
- 東大・法文1号館、消火器爆弾が爆発。受講中の学生ら3人負傷。
- 4 ○最高裁、全通名古屋中郵事件の上告審判決で、公企業職員の労働基本権を厳しく制限、争議行為も刑事罰の対象になるとの判断。
- 厚生省、51年「麻薬・覚せい剤白書」を発表。麻薬事件は微増、覚せい剤事件は30%の大幅増。
- 6 ○成田空港、反対派鉄塔を撤去。学生と機動隊の衝突で約500人負傷。2人死亡。
- 7 ○第3回先進国会議、ロンドンで7カ国首脳が参加して開幕、8日、ロンドン宣言を採択。
- 10 ○郵政審議会（会長・土光敏夫経団連会長）、郵便貯金の金利下げを答申。下げ幅は、通常貯金0.48%、定期貯金1%など。
- 11 ○三井芦別鉱、ガス爆発。25人死亡、8人重軽傷。
- 13 ○閣議、52年度防災白書を了承。防災施策推進へ1兆8,000億円。
- 15 ○沖縄公用地暫定使用法、これに代わる沖縄地籍明確化法案が成立しないまま、14日で期限切れ。沖縄基地の一部（拒否地主分約7%）は、法的根拠のないまま強制使用される異常事態。18日、沖縄地籍明確化法成立。
- 16 ○全国市長会（会長・平山博三浜松市長）、全国644市の52年度当初予算まとめる。税率アップで財源確保、投資的経費が大幅伸び。
- 20 ○閣議、51年度国土利用白書（国土の利用に関する年次報告）を了承。
- 22 ○社会市民連合代表・江田三郎氏（69歳）、死去。
- 23 ○全国市長会（会長・平山博三浜松市長）、全国644都市の51年度決算見込みまとめる。実質収入は全都市総計で3億円の赤字、105市が赤字閉休。
- 第3次国連海洋法会議第6会期、開幕。海底資源開発テーマに、約150カ国が参加。
- 24 ○閣議、51年度環境白書（公害の状況に関する年次報告）を了承。公害防止資金は、最小にして最大の効果をめざす「費用効果」を強調。
- ソ連共産党中央委、ボドゴルヌイ最高会議幹部会議長を党政治局員の地位から解任。

- 27 ○日ソ漁業暫定協定、3カ月に及ぶ交渉の末、正式調印。
- 参院本会議、独占禁止法改正案が可決成立。13日の衆院本会議で政府案を一部修正、独占的狀態の企業分割規定や同調的値上げ理由の報告聴取の規定など。
- 閣議、「51年度漁業の動向に関する年次報告」（漁業白書）を了承。200カイリ対策で「つくる漁業」の確立を提唱。

## 6月のメモ

- 1 ○北炭幌内鉱、一昨年11月のガス爆発事故で閉じ込められていた人たちの遺体収容。
- 2 ○室蘭市・北電、伊達火発パイプラインに関する防災協定を締結。
- 3 ○厚生省筋筒縮症研究班発生予防部会（部会長・堀誠国立小児病院院長）、中間報告として「体質原因説」を発表。
- 4 ○ソ連、新憲法草案を発表。11月7日の革命60周年記念日を機に施行。前文で「プロレタリア独裁」を過去のものとし、ソ連を「全人民の国家」と規定。
- 7 ○伊達、室蘭両市と道は、北電伊達火力パイプラインルートの道路、河川占用を許可。8日、道開発局も国道占用を許可。13日、北電は、パイプライン工事に着手。  
○東京高裁、都公安条例違反に問われていた36年の政暴法反対デモ事件の控訴審判決で、同条例について結論では合憲の判断を示しながら、判決理由のなかで運用面から違憲ではないか、とする解釈を展開。  
○道公衆浴場入浴料金審議会、新料金(大人＝155円)を知事に答申。15日、道は答申どおり実施。
- 8 ○文部省、新しい「小、中学校学習指導要領」案を発表。内容は①授業時間の1割減②数学、理科などの大幅精選など。また「君が代」を国歌と明記。
- 9 ○日韓大陸だな協定、衆院通過後30日経過の午前零時に自然承認。また日ソ漁業暫定協定も参院本会議で可決、承認(成立)。第80通常国会、12日間の延長を含む162日間の会期を終了。
- 10 ○国土庁、新全総の総点検を進め「工業基地問題とその対策」について中間報告。経済安定成長のためになお大規模開発が必要、本道と東北を中心に基礎資源型の方向で。
- 11 ○道建築審査会(会長・大野和男道建築指導センター理事長)、道建築基準法施行条例の日影規制に関する改正について答申。住居地域別に基準、日照時間確保を図る。
- 14 ○東京高裁、水俣病公害の被害者がチッソ社員にけがをさせたとして傷害罪に問われていた「川本事件」で「起訴は公訴権の乱用である」として公訴棄却。
- 15 ○和歌山県有田市、集団コレラ発生。患者は26日までに真性21人、疑似患者20人、健康保菌者56人、計97人(うち死亡1人)。
- 16 ○ソ連最高会議、ブレジネフ共産党書記長を最高会議幹部会議長に選出。党書記長が最高会議幹部会議長(国家元首)を兼任するのは、ソ連政治史上初めて。
- 17 ○第11回参院通常選挙、公示。立候補者総数は全国区102人、地方区218人の計320人で、史上3番目の

少数激戦。

- 20 ○最高裁、岐阜商工信組訴訟の上告審で「過重な拘束預金は違法」との判断。最高裁が金融機関の貸付け条件をめぐる独禁法違反の判断を示したのは初めて。27日、大蔵省、歩積み、両建て預金の自粛徹底を求める銀行局長通達を各金融機関に送付。
- 21 ○閣議、北洋漁業界と関連産業に対する救済対策について基本方針を了承。漁業者の減船対策は、政府交付金による補償と、共補償併用の2本立て。
- 25 ○厚生省、「51年簡易生命表」を発表。昨年の平均寿命は男が前年より0.39歳、女が0.4歳とそれぞれ大幅な伸びで、男72.15歳、女77.35歳となった。
- 28 ○閣議、「1977年版通商白書」を了承。産業構造転換を強調。
- 29 ○法制審議会(法相の諮問機関)、少年法改正に関する中間報告を答申。審判に検察官関与認め、18、19歳を準成人扱い。

## 第11回参議院議員通常選挙の結果

第11回参議院議員通常選挙は、6月17日告示され、翌18日午後5時の締切り時まで、全国区102人、地方区218人、計320人が立候補し、全国区50、地方区76、計126の改選議席に対し、全国区2.04倍、地方区2.87倍となり、全国区は昭和40、43年に次ぐ史上3位の少数激戦、全立

候補者数320人も戦後11回の参院選で、43年、46年に次いで少ない順の3位となった。北海道地方区は、改選議席4に対し、こいと義夫氏（公明・新）、ばんどうよしのり氏（新自ク・新）、丸谷かねやす氏（社会・新）、川村清一氏（社会・現）、こだま健次氏（共産・新）、ひがし正博氏（無所属・新）、中村啓一氏（自民・新）、北修二氏（自民・新）、浅沼ひろみち氏（無所属・新）の9人が立候補した。

党派別	区別	当選者数	地方区				全国区				新分野	改選前の分野			
			前	元	新	計	前	元	新	計		改選	非改選		計
													地方	全国	
自民		63	25	0	20	45	11	0	7	18	124	65	45	16	126
社会		27	10	0	7	17	4	0	6	10	56	32	18	11	61
公明		14	3	0	2	5	6	1	2	9	28	10	5	9	24
共産		5	1	0	1	2	0	0	3	3	16	9	5	6	20
民社		6	1	0	1	2	3	0	1	4	11	5	1	4	10
新自ク		3	0	0	2	2	0	0	1	1	4	—	1	0	1
社市連		1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	—	—	—	0
革自連		1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	—	—	—	0
諸派		1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0
無所属		5	1	0	1	2	1	0	2	3	9	3	1	3	7
計		126	41	0	35	76	25	2	23	50	欠員1 251	欠員2 126	欠員1 126	欠員3 252	

(注) 自民党の追加公認については、この表では投票日現在にあわせて無所属とした。

かくて、7月10日午前7時から全国一斉に投票が行なわれ、投票率は全国平均68.48%（前回73.20%）で史上4番目の高率、北海道でも73.67%（前回75.86%）と前回に次ぐ史上2位を記録した。

開票は、7月12日早朝まで続けられ、参議院の新勢力分野が固まったが、自民党は公認候補63人の当選をきめ、追加公認等を加えて単独で過半数を確保した。しかし、与野党の議席差は改選前の「7」から「4」に縮まり、与野党伯仲状況はさらに進んだ。

北海道地方区の当選者は、北修二氏（自民）、中村啓一氏（自民）、丸谷かねやす氏（社会）、川村清一氏（社会）に決定。同全国区では、町村金五氏（自民）、宮崎正義氏（公明）、下田京子氏（共産）、山崎昇氏（社会）、田英夫氏（社会）が上位を占めた。

党派別	区分	立候補者 合計(婦人)	地方区				全国区			
			前	元	新	計	前	元	新	計
自民		77(4)	32	0	23	55	13	0	9	22
社会		59(5)	19	2	26	47	5	0	7	12
公明		15(2)	3	0	3	6	6	1	2	9
共産		52(7)	1	0	44	45	4	0	3	7
民社		11(1)	2	0	5	7	3	0	1	4
新自ク		13(0)	0	0	9	9	0	0	4	4
社市連		10(1)	0	0	8	8	0	0	2	2
革自連		10(4)	0	0	5	5	0	1	4	5
諸派		27(10)	0	0	15	15	0	0	12	12
無所属		46(2)	1	2	20	21	1	0	24	25
計		320(36)	58	2	158	218	32	2	68	102

投票結果

区分 支庁・市別	選挙当日の有権者数 (人)			投票者数 (人)			
	男	女	計	男	女	計	
石渡 松後 空	狩	25,456	26,437	51,893	19,779	20,168	39,947
	島	63,495	68,391	131,886	44,294	50,519	94,813
	山	25,006	27,070	52,076	19,240	21,485	40,725
	志	46,923	52,507	99,430	36,297	40,576	76,873
空	44,942	49,265	94,207	38,708	41,524	80,232	
上留 宗網 胆	川	48,212	52,454	100,666	40,940	43,444	84,384
	萌	18,243	20,515	38,758	15,020	16,950	31,970
	谷	16,237	17,601	33,838	14,376	15,547	29,923
	走	65,148	70,426	135,574	55,172	58,650	113,822
胆	27,434	29,741	57,175	22,475	24,109	46,584	
日十 釧根	高	33,491	35,427	68,918	27,469	29,454	56,923
	勝	66,251	70,875	137,126	57,922	61,643	119,565
	路	29,918	30,978	60,896	23,187	24,075	47,262
	室	17,280	17,482	34,762	13,508	13,413	26,921
支 庁 計	528,036	569,169	1,097,205	428,387	461,557	889,944	
札幌 函小 旭室	幌	429,092	452,799	881,891	287,649	306,989	594,638
	館	99,227	116,667	215,894	65,660	76,865	142,525
	樽	60,050	71,398	131,448	42,309	49,205	91,514
	川	107,419	117,309	224,728	75,060	80,973	156,033
室	53,315	54,548	107,863	38,977	39,904	78,881	
釧路 帯北 夕岩	路	69,428	73,629	143,057	48,039	52,000	100,039
	広	47,995	50,519	98,514	36,219	38,264	74,483
	見	30,907	33,325	64,232	23,378	25,317	48,695
	張	17,218	18,061	35,279	13,122	13,423	26,545
岩	24,306	26,727	51,033	18,358	19,761	38,119	
網走 留小 苦稚 美	走	13,920	15,299	29,219	10,791	11,834	22,625
	萌	12,400	13,383	25,783	8,987	9,493	18,480
	救	46,002	46,705	92,707	31,797	32,244	64,041
	内	18,146	19,112	37,258	12,607	13,529	26,136
美	12,995	14,683	27,678	9,877	10,739	20,616	
芦江 赤紋 士	別	12,037	13,243	25,280	9,585	10,429	20,014
	別	26,260	27,554	53,814	20,004	21,268	41,272
	市	9,536	10,196	19,732	7,237	7,713	14,950
	市	10,796	12,009	22,805	7,687	8,366	16,053
士	9,921	10,915	20,836	7,512	7,935	15,447	
名三 根千 滝	寄	11,819	12,274	23,093	9,564	9,646	19,210
	笠	8,710	9,873	18,583	6,778	7,706	14,484
	室	13,931	15,055	28,986	8,937	9,931	18,868
	藏	22,757	19,026	41,783	17,268	13,351	30,619
千	16,441	17,671	34,112	12,679	13,424	26,103	
砂歌 深富 登	川	8,206	8,911	17,117	6,760	7,395	14,155
	志	3,934	4,396	8,330	3,178	3,509	6,687
	内	11,844	13,399	25,243	9,568	10,637	20,205
	野	9,576	10,597	20,173	7,593	8,120	15,713
登	17,694	18,319	36,013	13,581	13,850	27,431	
恵伊 庭	市	13,938	12,893	26,831	11,259	10,163	21,422
	市	11,025	12,245	23,270	8,631	9,308	17,939
市 計	1,260,845	1,352,740	2,613,585	890,651	953,271	1,843,922	
合 計	1,788,881	1,921,909	3,710,790	1,319,038	1,414,828	2,733,866	

調 (地 方 区)

昭和52年7月10日執行

棄権者数(人)			投票率(%)			前回(昭和49年)投票率(%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
5,677	6,269	11,946	77.70	76.29	76.98	78.27	76.28	77.25
19,201	17,872	37,073	69.76	73.87	71.89	70.83	74.97	72.98
5,766	5,585	11,351	76.94	79.37	78.20	76.57	79.40	78.04
10,626	11,931	22,557	77.35	77.28	77.31	75.51	75.33	75.42
6,234	7,741	13,975	86.13	84.29	85.17	84.75	82.28	83.45
7,272	9,010	16,282	84.92	82.82	83.83	83.04	81.33	82.15
3,223	3,565	6,788	82.33	82.62	82.49	81.58	82.99	82.33
1,861	2,054	3,915	88.54	88.33	88.43	84.70	85.20	84.96
9,976	11,776	21,752	84.69	83.28	83.96	83.69	82.31	82.97
4,959	5,632	10,591	81.92	81.06	81.48	83.84	82.39	83.08
6,022	5,973	11,995	82.02	83.14	82.60	80.79	80.70	80.75
8,329	9,232	17,561	87.43	86.97	87.19	85.71	84.31	84.99
6,731	6,903	13,634	77.50	77.72	77.61	78.86	78.81	78.83
3,772	4,069	7,841	78.17	76.72	77.44	78.06	75.95	77.00
99,649	107,612	207,261	81.13	81.09	81.11	80.49	80.22	80.35
141,443	145,810	287,253	67.04	67.80	67.43	70.81	71.39	71.11
33,567	39,802	73,369	66.17	65.88	66.02	71.76	71.21	71.46
17,741	22,193	39,934	70.46	68.92	69.62	75.25	73.99	74.57
32,359	36,336	68,695	69.88	69.03	69.43	76.08	75.84	75.96
14,338	14,644	28,982	73.11	73.15	73.13	76.59	75.18	75.88
21,389	21,629	43,018	69.19	70.62	69.93	73.04	73.76	73.41
11,776	12,255	24,031	75.46	75.74	75.61	71.88	70.95	71.40
7,529	8,008	15,537	75.64	75.97	75.81	78.51	77.80	78.14
4,096	4,638	8,734	76.21	74.32	75.24	77.25	73.95	75.54
5,948	6,966	12,914	75.53	73.94	74.69	77.42	74.63	75.96
3,129	3,465	6,594	77.52	77.35	77.43	78.59	75.11	76.77
3,413	3,890	7,303	72.48	70.93	71.68	72.15	71.72	71.93
14,205	14,461	28,666	69.12	69.04	69.08	76.68	76.89	76.79
5,539	5,583	11,122	69.48	70.79	70.15	70.83	71.45	71.14
3,118	3,944	7,062	76.01	73.14	74.49	77.64	74.51	75.98
2,452	2,814	5,266	79.63	78.75	79.17	79.47	78.02	78.71
6,256	6,286	12,542	76.18	77.19	76.69	78.21	77.75	77.97
2,299	2,483	4,782	75.89	75.65	75.77	78.91	78.35	78.62
3,109	3,643	6,752	71.20	69.66	70.39	77.36	78.50	77.96
2,409	2,980	5,389	75.72	72.70	74.14	70.63	66.35	68.38
2,255	2,628	4,883	80.92	78.59	79.73	82.31	79.80	81.03
1,932	2,167	4,099	77.82	78.05	77.94	80.46	78.84	79.60
4,994	5,124	10,118	64.15	65.96	65.09	66.09	65.36	65.71
5,489	5,675	11,164	75.88	70.17	73.28	79.43	75.21	77.52
3,762	4,247	8,009	77.12	75.97	76.52	78.22	76.37	77.26
1,446	1,516	2,962	82.38	82.99	82.70	82.56	82.99	82.79
756	887	1,643	80.78	79.82	80.28	82.91	80.24	81.49
2,276	2,762	5,038	80.78	79.39	80.04	80.40	78.10	79.18
1,983	2,477	4,460	79.29	76.63	77.89	79.38	75.41	77.08
4,113	4,489	8,602	76.75	75.50	76.11	78.58	77.56	78.06
2,679	2,730	5,409	80.78	78.83	79.84	82.59	79.83	81.27
2,394	2,937	5,331	78.29	76.01	77.09	83.03	81.29	82.11
370,194	399,469	769,663	70.64	70.47	70.55	74.14	73.63	73.88
469,843	507,981	976,924	73.74	73.62	73.67	76.08	75.65	75.86

候 補 者 別 得

1 支 庁 市 別

支庁市別	区分	1	2	3	4	5	6
		こいと 義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ケ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
石渡 松後 空	狩 島山 志知	4,496	4,569	7,813	2,134	3,213	46
		10,565	13,332	2,106	21,024	5,610	202
		4,065	3,457	732	7,841	3,390	62
		8,734	5,903	1,794	15,761	5,987	96
		6,560	4,681	2,078	13,838	4,445	107
上留 宗網 胆	川 萌谷 走振	6,640	5,510	23,871	1,525	3,316	121
		2,644	2,026	7,322	697	1,247	57
		3,196	1,767	7,041	759	2,002	50
		7,536	6,517	35,121	1,833	5,088	130
		6,125	4,090	1,182	9,907	3,577	78
日十 釧根	高 勝路 室	5,501	3,139	876	17,692	4,274	49
		7,773	5,602	46,256	1,089	5,862	126
		4,520	3,171	11,753	1,017	3,135	59
		2,506	1,878	6,202	497	1,491	48
<b>支 庁 計</b>	<b>80,861</b>	<b>65,642</b>	<b>154,147</b>	<b>95,614</b>	<b>52,637</b>	<b>1,231</b>	
札幌 函小 旭室	幌 館樽 川蘭	89,140	94,491	73,476	74,107	67,859	778
		19,568	32,334	4,472	33,681	14,959	177
		12,871	13,699	3,560	18,704	13,300	115
		17,436	20,639	43,274	4,169	11,026	181
		11,629	8,856	2,438	18,329	8,292	83
釧帯 北夕 岩見	路 広見 張沢	15,141	10,601	31,283	3,596	7,969	135
		7,959	5,810	26,623	854	4,845	49
		4,000	4,263	15,127	1,030	3,509	87
		3,645	2,008	602	12,566	2,790	17
		3,496	3,769	1,473	9,858	3,431	32
網留 吉稚 美	走 萌小 内唄	2,309	2,032	6,298	459	1,448	14
		1,848	1,770	5,346	436	1,020	10
		9,993	8,312	2,321	14,360	5,916	74
		3,667	3,008	7,313	757	1,733	39
		2,563	1,679	715	4,282	2,356	24
芦江 赤紋 士	別 平別 別	2,851	1,563	543	7,135	1,543	29
		4,752	4,883	9,650	2,429	3,972	32
		2,277	1,071	345	5,721	1,338	24
		1,473	1,850	4,397	433	1,168	17
		1,531	1,110	4,755	335	857	71
名三 根千 滝	寄 笠室 蔵川	1,850	1,814	5,996	356	940	36
		1,772	1,067	352	5,997	1,294	6
		1,488	2,436	4,180	636	1,628	94
		3,311	4,982	3,845	959	1,464	46
		2,841	2,567	1,401	6,240	1,975	27
砂歌 深富 登	川 志内 川野 良別	1,833	1,163	450	3,986	1,061	11
		992	422	175	2,418	921	17
		1,610	1,398	536	4,607	1,531	22
		1,288	1,330	5,088	332	1,013	35
		4,038	3,397	922	7,203	2,766	41
恵伊 庭達	市 市	2,141	2,990	2,994	759	1,311	52
		2,346	1,770	586	3,763	1,544	21
<b>市 計</b>	<b>243,659</b>	<b>249,084</b>	<b>270,539</b>	<b>250,497</b>	<b>176,779</b>	<b>2,396</b>	
<b>合 計</b>	<b>324,520</b>	<b>314,726</b>	<b>424,686</b>	<b>346,111</b>	<b>229,416</b>	<b>3,627</b>	

票 数 (地 方 区)

7 中 村 啓 一 (自 民)	8 北 修 二 (自 民)	9 浅 沼 ひろみち (無)	有 効 票 数 投 票 (A)	無 効 票 数 投 票 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 総 (D)
6,111	10,754	85	39,221	726	39,947	39,947
20,883	17,365	207	91,294	3,508	94,802	94,813
10,644	9,270	69	39,530	1,190	40,720	40,725
14,958	21,124	80	74,437	2,434	76,871	76,873
9,683	36,371	83	77,846	2,379	80,225	80,232
16,053	25,312	89	82,437	1,939	84,376	84,384
7,084	9,899	61	31,037	926	31,963	31,970
7,956	6,183	32	28,986	932	29,918	29,923
23,749	31,112	102	111,188	2,628	113,816	113,822
9,628	10,855	99	45,541	1,035	46,576	46,584
11,523	12,440	65	55,559	1,360	56,919	56,923
18,773	31,627	95	117,203	2,347	119,550	119,565
10,509	11,916	62	46,142	1,119	47,261	47,262
4,527	9,268	35	26,452	468	26,920	26,921
<b>172,081</b>	<b>243,496</b>	<b>1,164</b>	<b>866,873</b>	<b>22,991</b>	<b>889,864</b>	<b>889,944</b>
105,001	81,552	1,476	587,780	6,637	594,517	594,638
20,351	14,236	294	140,072	2,440	142,512	142,525
14,600	13,045	161	90,055	1,440	91,495	91,514
26,566	30,784	228	154,303	1,728	156,031	156,033
20,528	7,512	129	77,796	1,080	78,876	78,881
16,799	12,919	175	98,618	1,419	100,037	100,039
13,094	14,242	80	73,556	920	74,446	74,483
10,175	9,920	55	48,166	523	48,689	48,695
2,135	2,231	29	26,027	518	26,545	26,545
4,100	11,207	56	37,425	688	38,113	38,119
5,091	4,664	17	22,332	291	22,623	22,625
4,629	3,142	27	18,228	250	18,478	18,480
12,232	9,913	113	63,234	807	64,041	64,041
4,729	4,207	53	25,506	630	26,136	26,136
2,162	6,380	41	20,202	412	20,614	20,616
1,799	4,219	20	19,702	312	20,014	20,014
6,983	8,045	71	40,817	453	41,270	41,272
1,500	2,374	12	14,662	288	14,950	14,950
2,934	3,271	21	15,105	489	16,053	16,053
2,785	3,647	14	18,854	340	19,445	19,447
4,002	3,838	22	14,203	354	14,928	14,928
1,766	1,935	14	14,203	280	14,483	14,484
3,706	4,176	49	18,393	475	18,868	18,868
7,143	8,225	67	30,042	574	30,616	30,619
3,486	7,185	29	25,751	349	26,100	26,103
1,326	4,107	16	13,953	202	14,155	14,155
603	948	17	6,513	174	6,687	6,687
2,094	8,057	21	19,876	328	20,204	20,205
2,365	3,928	16	15,395	317	15,712	15,712
6,079	2,530	71	27,047	355	27,402	27,411
5,353	5,469	50	21,119	302	21,421	21,422
4,164	3,321	55	17,570	368	17,938	17,939
<b>320,284</b>	<b>301,229</b>	<b>3,499</b>	<b>1,817,966</b>	<b>25,743</b>	<b>1,843,709</b>	<b>1,843,922</b>
<b>492,365</b>	<b>544,725</b>	<b>4,663</b>	<b>2,684,839</b>	<b>48,734</b>	<b>2,733,573</b>	<b>2,733,866</b>

## (札幌市)

区分 区別	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ぼんどうよしのり (新自グ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
中央区	11,560	14,403	11,837	5,859	8,524	88
北地区	12,613	12,688	7,319	14,287	10,060	104
東地区	14,256	14,140	8,053	15,663	11,869	180
白石区	16,602	13,720	16,968	6,757	12,638	99
豊平区	13,051	14,295	15,318	5,969	9,686	90
南区	6,696	9,296	4,872	7,954	4,638	107
西区	14,362	15,949	9,109	17,618	10,444	110
計	89,140	94,491	73,476	74,107	67,859	778

## (石狩支庁)

種別 町村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ぼんどうよしのり (新自グ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
広島町	1,671	2,043	3,108	868	1,185	19
石狩町	1,350	1,340	1,835	774	794	8
当別町	693	889	1,627	291	957	10
篠津村	128	80	323	33	61	4
厚田村	372	109	322	44	96	4
浜益村	282	108	598	124	120	1
計	4,496	4,569	7,813	2,134	3,213	46

## (渡島支庁)

種別 町村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ぼんどうよしのり (新自グ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
松前町	976	1,094	112	1,485	505	20
福知内町	908	811	108	814	324	28
木古内町	308	308	33	671	89	5
上磯町	422	609	105	1,223	357	7
大野町	1,592	2,429	415	3,288	995	44
大七戸町	416	619	117	919	261	13
戸井町	1,115	1,970	345	2,425	584	16
尻内町	304	398	28	398	146	3
法華村	438	269	135	710	142	17
榎法華村	150	99	11	168	44	—
南茅部町	725	771	73	1,138	153	9
鹿部町	200	259	33	456	86	4
砂原町	332	384	33	393	139	2
森町	1,062	1,592	181	1,739	381	14
八雲町	1,013	1,214	303	2,689	649	16
長万部町	604	506	74	2,508	755	4
計	10,565	13,332	2,106	21,024	5,610	202

7 中村啓一 (自民)	8 北修二 (自民)	9 浅沼ひろみち (無)	有 投 票 効 数 (A)	無 投 票 効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
21,941	13,455	228	87,895	1,023	88,918	88,920
12,256	10,925	217	80,469	827	81,296	81,312
13,485	12,537	247	90,430	1,098	91,528	91,577
13,099	12,574	207	92,664	929	93,593	93,597
15,844	11,601	196	86,050	985	87,035	87,062
13,073	8,141	117	54,894	652	55,546	55,550
15,303	12,319	264	95,478	1,123	96,601	96,620
105,001	81,552	1,476	587,880	6,637	594,517	594,638

7 中村啓一 (自民)	8 北修二 (自民)	9 浅沼ひろみち (無)	有 投 票 効 数 (A)	無 投 票 効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
2,232	2,308	40	13,474	176	13,650	13,650
1,300	2,597	25	10,023	116	10,139	10,139
1,430	3,336	10	9,243	257	9,500	9,500
350	1,510	2	2,491	57	2,548	2,548
241	620	3	1,811	56	1,867	1,867
558	383	5	2,179	64	2,243	2,243
6,111	10,754	85	39,221	726	39,947	39,947

7 中村啓一 (自民)	8 北修二 (自民)	9 浅沼ひろみち (無)	有 投 票 効 数 (A)	無 投 票 効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
2,248	1,296	4	7,740	310	8,050	8,050
1,374	795	14	5,176	255	5,431	5,434
959	1,078	3	3,454	144	3,598	3,598
888	1,204	11	4,826	149	4,975	4,976
2,630	1,756	33	13,182	378	13,560	13,562
676	1,895	10	4,926	142	5,068	5,068
1,369	2,005	28	9,857	232	10,089	10,090
968	537	7	2,789	273	3,062	3,063
991	492	2	3,196	369	3,565	3,568
566	123	5	1,166	48	1,214	1,214
1,454	1,070	14	5,407	204	5,611	5,611
769	260	5	2,072	68	2,140	2,140
678	384	14	2,359	281	2,640	2,640
1,767	1,407	20	8,163	240	8,403	8,403
2,140	2,219	23	10,266	263	10,529	10,529
1,406	844	14	6,715	152	6,867	6,867
20,883	17,365	207	91,294	3,508	94,802	94,813

## ( 松 山 支 庁 )

種 別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
江 差 町	714	812	172	1,839	570	5
上ノ国町	388	329	72	1,014	671	7
厚沢部町	331	255	72	634	191	11
乙部町	475	278	41	580	452	4
熊石町	341	363	57	742	147	6
大奥町	272	201	29	405	214	—
瀬尻町	405	298	14	338	201	6
北今町	141	169	40	349	196	8
今町	469	317	108	851	379	4
計	4,065	3,457	732	7,841	3,390	62

## ( 後 志 支 庁 )

種 別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
島 牧 村	256	78	23	418	160	1
寿都町	380	156	56	763	385	8
黒松内町	179	105	48	770	279	4
蘭越町	388	293	98	1,096	205	3
ニセコ町	265	204	40	600	218	1
真狩村	219	140	49	343	62	3
留寿都町	91	47	23	191	108	3
喜茂別町	388	191	45	589	119	6
倶知安町	221	110	22	522	49	3
共 和 町	928	708	232	2,530	612	2
岩内町	346	218	93	931	195	2
泊内村	1,554	1,067	256	1,916	1,234	10
神 惠 村	238	98	29	268	250	2
積丹町	202	87	9	343	34	5
古 平 町	425	315	95	441	124	11
仁 木 町	421	314	52	498	176	3
余 市 町	384	324	268	608	230	12
赤 井 川 村	1,759	1,403	345	2,714	1,449	15
計	90	45	11	220	98	2
計	8,734	5,903	1,794	15,761	5,987	96

## ( 空 知 支 庁 )

種 別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
北 村 町	144	108	49	311	91	3
栗 沢 町	477	419	181	1,311	333	25
南 幌 町	234	183	75	293	160	2
奈 井 江 町	416	160	103	491	527	—
上 砂 川 町	1,128	483	157	3,381	844	10
由 仁 町	416	367	140	996	248	6
長 沼 町	507	533	252	964	386	11
栗 山 町	1,009	999	291	2,048	604	28
月 形 町	331	223	76	534	124	5
浦 白 町	148	104	63	245	99	—
新 十 津 川 町	472	334	312	640	204	8
妹 背 牛 町	258	177	106	386	210	4
秩 父 別 町	177	106	38	302	142	—
雨 竜 町	190	88	44	457	65	2
北 竜 町	85	81	38	257	71	3
沼 田 町	333	230	98	603	234	—
幌 加 内 町	235	86	55	619	103	—
計	6,560	4,681	2,078	13,838	4,445	107

7	8	9	有 投	効 票 (A)	効 数	無 投	効 票 (B)	効 数	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
中 村 啓 一 (自 民)	北 修 二 (自 民)	浅 沼 ひろ み ち (無)								
1,891	1,044	27		7,074			162		7,236	7,236
1,080	996	11		4,568			213		4,781	4,781
780	1,802	9		4,086			122		4,208	4,209
844	802	2		3,478			110		3,588	3,588
915	493	4		3,068			107		3,175	3,175
913	432	3		2,469			115		2,584	2,584
1,596	201	5		3,064			77		3,141	3,141
817	571	1		2,292			50		2,342	2,342
827	1,469	2		4,426			136		4,562	4,563
981	1,460	5		5,005			98		5,103	5,106
10,644	9,270	69		39,530		1,190			40,720	40,725

7	8	9	有 投	効 票 (A)	効 数	無 投	効 票 (B)	効 数	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
中 村 啓 一 (自 民)	北 修 二 (自 民)	浅 沼 ひろ み ち (無)								
435	515	4		1,890			62		1,952	1,952
881	695	5		3,329			86		3,415	3,415
572	709	2		2,668			67		2,735	2,735
1,003	1,492	1		4,579			236		4,815	4,815
417	1,017	9		2,771			74		2,845	2,845
268	898	1		1,983			39		2,022	2,022
333	449	1		1,246			30		1,276	1,276
593	766	4		2,701			77		2,778	2,778
526	1,138	2		2,593			53		2,646	2,646
1,769	3,121	3		9,905		517			10,422	10,424
535	2,059	1		4,380			108		4,488	4,488
2,478	1,908	6		10,429			194		10,623	10,623
558	319	1		1,763			99		1,862	1,862
340	118	2		1,140			40		1,180	1,180
644	493	1		2,549			191		2,740	2,740
565	629	3		2,661			126		2,787	2,787
415	1,045	7		3,293			68		3,361	3,361
2,422	3,428	27		13,562			301		13,863	13,863
204	325	—		995			66		1,061	1,061
14,958	21,124	80		74,437		2,434			76,871	76,873

7	8	9	有 投	効 票 (A)	効 数	無 投	効 票 (B)	効 数	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
中 村 啓 一 (自 民)	北 修 二 (自 民)	浅 沼 ひろ み ち (無)								
240	2,244	2		3,192			62		3,254	3,254
629	2,802	7		6,184			162		6,346	6,346
716	1,567	3		3,233			226		3,459	3,459
132	3,764	3		5,596			76		5,672	5,672
595	794	1		7,393			130		7,523	7,524
800	2,423	7		5,403			166		5,569	5,569
1,276	3,668	14		7,611			376		7,987	7,987
1,139	3,550	20		9,688			256		9,944	9,945
734	1,478	3		3,508			99		3,607	3,609
210	1,529	3		2,401			31		2,432	2,432
581	3,110	7		5,668			321		5,989	5,990
425	2,374	1		3,941			139		4,080	4,082
425	1,482	3		2,675			49		2,724	2,724
347	1,362	—		2,555			106		2,661	2,661
351	1,479	2		2,367			52		2,419	2,419
564	1,881	4		3,947			80		4,027	4,027
519	864	3		2,484			48		2,532	2,532
9,683	36,371	83		77,846		2,379			80,225	80,232

## (上川支庁)

種別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ぼんどうよしのり (新自グ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
鷹栖町	243	266	895	93	279	2
東神楽町	192	175	1,217	60	90	10
当麻町	649	540	1,089	146	192	9
比布町	232	182	714	76	256	6
愛別町	269	165	709	52	72	5
上川町	494	398	2,417	89	238	16
東川町	527	378	1,008	104	172	14
美瑛町	851	622	2,630	140	431	6
上富良野町	510	942	1,338	190	211	20
中富良野町	167	243	852	66	108	1
南富良野町	158	120	1,393	48	92	2
占冠村	81	47	375	12	44	—
和寒町	372	212	1,043	67	221	9
剣淵町	172	221	1,008	72	243	2
朝日町	102	62	815	29	74	3
風連町	575	212	1,154	49	129	10
下川町	448	271	2,238	103	132	3
美深町	419	321	1,532	71	223	2
音威子府村	72	45	668	14	45	—
中川町	107	88	726	44	64	1
計	6,640	5,510	23,871	1,525	3,316	121

## (留萌支庁)

種別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ぼんどうよしのり (新自グ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
増毛町	610	505	974	130	273	13
小平町	271	210	855	95	77	13
苫前町	379	274	876	88	117	6
羽幌町	513	460	1,952	167	308	9
初山別村	74	57	457	26	38	3
遠別町	290	184	845	58	139	5
天塩町	327	228	745	64	148	3
幌延町	180	108	618	69	147	5
計	2,644	2,026	2,322	697	1,247	57

## (宗谷支庁)

種別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ぼんどうよしのり (新自グ)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
猿払村	171	87	524	16	101	2
浜頓別町	214	260	1,806	66	196	4
中頓別町	195	155	945	48	211	8
枝幸町	573	289	1,128	154	539	8
歌登町	148	77	736	30	111	—
豊富町	316	184	919	120	346	5
礼文町	513	214	254	128	192	4
利尻町	598	253	414	79	133	13
利尻村	468	248	315	118	173	6
計	3,196	1,767	7,041	759	2,002	50

7	8	9	有投 票 (A)	効 数 (A)	無投 票 (B)	効 数 (B)	投票総数 (A)+(B) (C)	投票者数 (D)
中村啓一 (自民)	北修二 (自民)	浅沼ひろみち (無)						
839	1,412	1	4,030	92	4,122	4,123		
454	807	3	3,008	68	3,076	3,075		
914	1,870	7	5,416	127	5,543	5,543		
955	924	6	3,351	83	3,434	3,436		
990	1,538	1	3,801	60	3,861	3,861		
740	660	3	5,055	145	5,200	5,200		
795	1,277	6	4,281	105	4,386	4,386		
1,231	2,971	16	8,898	171	9,069	9,069		
2,027	2,738	10	7,986	165	8,151	8,151		
1,010	1,982	7	4,436	83	4,519	4,520		
293	763	4	2,873	61	2,934	2,935		
166	235	—	960	20	980	980		
1,071	1,381	5	4,381	84	4,465	4,465		
682	811	7	3,218	118	3,336	3,336		
346	704	1	2,186	43	2,229	2,229		
633	1,634	1	4,397	109	4,506	4,506		
1,003	859	3	5,060	164	5,224	5,226		
1,179	1,788	7	5,542	143	5,685	5,686		
227	308	—	1,379	14	1,393	1,394		
498	650	1	2,179	84	2,263	2,263		
16,053	25,312	89	82,437	1,939	84,376	84,384		

7	8	9	有投 票 (A)	効 数 (A)	無投 票 (B)	効 数 (B)	投票総数 (A)+(B) (C)	投票者数 (D)
中村啓一 (自民)	北修二 (自民)	浅沼ひろみち (無)						
1,081	1,405	14	5,005	124	5,129	5,130		
1,043	1,196	4	3,764	178	3,942	3,942		
781	1,319	5	3,845	102	3,947	3,947		
1,819	2,432	15	7,675	183	7,858	7,858		
381	510	1	1,547	46	1,593	1,593		
716	933	6	3,176	97	3,273	3,273		
774	1,221	8	3,518	78	3,596	3,602		
489	883	8	2,507	118	2,625	2,625		
7,084	9,899	61	31,037	926	31,963	31,970		

7	8	9	有投 票 (A)	効 数 (A)	無投 票 (B)	効 数 (B)	投票総数 (A)+(B) (C)	投票者数 (D)
中村啓一 (自民)	北修二 (自民)	浅沼ひろみち (無)						
478	544	—	1,923	84	2,007	2,008		
680	562	2	3,790	134	3,924	3,924		
545	431	7	2,545	77	2,622	2,622		
1,498	1,252	8	5,449	111	5,560	5,564		
673	523	1	2,299	41	2,340	2,340		
849	967	2	3,708	180	3,888	3,888		
1,228	632	5	3,170	107	3,277	3,277		
632	826	4	2,952	93	3,045	3,045		
1,373	446	3	3,150	105	3,255	3,255		
7,956	6,183	32	28,986	932	29,918	29,923		

## (網走支庁)

種別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
東藻琴村	90	111	407	30	98	4
女満別町	320	190	704	57	89	9
美幌町	1,009	1,047	3,465	298	630	17
津別町	427	322	2,085	69	373	3
斜里町	648	402	3,421	127	414	7
清里町	287	175	1,605	63	96	5
小清水町	390	246	1,472	83	347	1
端野町	210	173	629	28	127	6
訓子府町	246	315	1,076	66	295	8
置戸町	179	210	1,706	76	164	3
留辺蘂町	530	499	3,149	134	377	12
佐呂間町	266	284	1,374	96	290	6
常呂町	225	255	923	59	144	7
生田町	102	110	897	22	82	1
遠軽町	867	765	3,775	190	579	13
丸瀬布町	101	57	1,288	33	72	2
白滝村	82	21	620	7	28	—
上湧別町	374	251	1,631	76	214	5
湧別町	294	242	798	77	103	9
滝上町	258	169	1,643	37	92	3
興部町	275	310	1,131	88	158	1
西興部町	117	58	318	14	28	—
武町	239	305	1,004	103	288	8
計	7,536	6,517	35,121	1,833	5,088	130

## (胆振支庁)

種別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
豊浦町	468	267	54	677	308	16
虻田町	1,133	682	175	1,881	412	5
洞爺村	151	86	40	166	96	1
大滝町	216	96	39	162	36	5
大井町	386	211	61	523	117	2
白老町	2,170	1,481	388	1,946	1,051	18
早来町	315	343	117	660	197	11
追分町	174	190	36	1,469	451	8
厚真町	265	342	88	769	209	8
磯川町	521	250	114	890	430	2
穂別町	326	142	70	764	270	2
計	6,125	4,090	1,182	9,907	3,577	78

## (日高支庁)

種別 町 村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
日高町	201	92	33	675	207	1
平取町	396	235	75	1,645	295	3
門別町	745	548	148	2,064	659	4
新冠町	496	251	80	1,022	269	3
静内町	1,491	811	242	3,779	828	11
三石町	284	173	50	1,268	165	3
浦河町	971	534	151	4,602	1,223	6
横似町	412	253	47	1,398	352	6
えりも町	505	242	50	1,239	278	12
計	5,501	3,139	876	17,692	4,274	49

7	8	9	有 投 票 効 数 (A)	無 投 票 効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
中 村 啓 一 (自 民)	北 修 二 (自 民)	浅 沼 ひろ み ち (無)				
424	758	5	1,927	32	1,959	1,959
750	1,746	4	3,869	73	3,942	3,942
2,568	4,935	14	13,983	252	14,235	14,235
1,230	983	3	5,495	441	5,936	5,937
1,206	2,488	4	8,717	189	8,906	8,909
999	921	6	4,157	83	4,240	4,240
575	1,548	3	4,665	88	4,753	4,753
569	1,501	2	3,245	38	3,283	3,283
707	1,541	5	4,259	88	4,347	4,348
843	1,075	3	4,259	95	4,354	4,354
1,877	1,750	7	8,335	164	8,499	8,499
1,393	1,418	5	5,132	116	5,248	5,248
720	1,128	4	3,465	149	3,614	3,614
719	485	1	2,419	60	2,479	2,479
3,340	1,948	12	11,489	154	11,643	11,644
591	315	—	2,459	44	2,503	2,503
262	446	—	1,466	26	1,492	1,492
1,276	1,225	2	5,054	136	5,190	5,190
862	1,580	4	3,969	119	4,088	4,088
848	866	9	3,925	98	4,023	4,023
896	918	2	3,779	85	3,864	3,864
266	330	—	1,131	32	1,163	1,163
828	1,207	7	3,989	66	4,055	4,055
23,749	31,112	102	111,188	2,628	113,816	113,822

7	8	9	有 投 票 効 数 (A)	無 投 票 効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
中 村 啓 一 (自 民)	北 修 二 (自 民)	浅 沼 ひろ み ち (無)				
945	901	12	3,648	93	3,741	3,741
1,396	1,038	8	6,730	128	6,858	6,860
346	650	2	1,538	32	1,570	1,571
254	196	1	1,005	51	1,056	1,056
560	655	8	2,523	53	2,576	2,576
2,272	1,923	30	11,279	290	11,569	11,569
837	1,005	18	3,503	52	3,565	3,567
406	454	3	3,191	64	3,255	3,255
967	1,363	5	4,016	100	4,116	4,117
937	1,792	6	4,942	96	5,038	5,040
708	878	6	3,166	66	3,232	3,232
9,628	10,855	99	45,541	1,035	46,576	46,584

7	8	9	有 投 票 効 数 (A)	無 投 票 効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
中 村 啓 一 (自 民)	北 修 二 (自 民)	浅 沼 ひろ み ち (無)				
537	382	2	2,130	48	2,178	2,178
926	1,235	9	4,819	226	5,045	5,045
1,311	2,439	11	7,929	150	8,079	8,080
645	1,251	7	4,024	129	4,153	4,153
2,798	2,895	13	12,868	195	13,063	13,066
909	1,300	3	4,153	123	4,276	4,276
1,825	1,466	10	10,788	255	11,043	11,043
1,232	852	4	4,556	105	4,661	4,661
1,340	620	6	4,292	129	4,421	4,421
11,523	12,440	65	55,559	1,360	56,919	56,923

## (十勝支庁)

種別 町村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
音更町	1,299	1,038	5,372	170	875	15
土幌町	203	98	1,419	23	329	5
上幌町	258	113	2,014	25	262	—
鹿追町	263	208	1,368	26	126	6
新得町	411	284	2,782	50	261	3
清芽町	578	413	2,537	85	433	16
中札内町	570	586	2,856	132	698	8
更別村	116	72	1,059	12	159	3
忠類村	116	98	763	14	85	1
	70	27	493	2	51	1
大樹町	270	211	1,770	57	284	7
広尾町	421	545	1,676	81	337	17
蓉別町	632	548	4,964	105	673	19
池田町	370	257	4,974	80	232	2
豊頃町	321	101	1,335	28	137	—
本別町	451	334	3,437	64	246	3
足寄町	692	363	3,496	61	337	8
陸奥町	271	65	1,565	17	134	6
浦幌町	461	241	2,326	57	203	6
計	7,773	5,602	46,256	1,089	5,862	126

## (釧路支庁)

種別 町村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
釧路村	635	560	947	148	350	21
厚岸町	865	649	1,898	195	714	7
浜中町	483	340	1,002	80	247	7
標茶町	549	295	2,026	115	667	5
弟子屈町	486	361	2,161	74	288	7
阿寒町	435	228	942	98	114	3
鶴居町	104	57	257	26	115	—
白音別町	761	568	2,174	209	534	8
音別町	202	113	346	72	106	1
計	4,520	3,171	11,753	1,017	3,135	59

## (根室支庁)

種別 町村名	1	2	3	4	5	6
	こいと義夫 (公明)	ばんどうよしのり (新自ク)	丸谷かねやす (社会)	川村清一 (社会)	こだま健次 (共産)	ひがし正博 (無)
別海町	788	600	1,565	179	768	20
中標津町	815	736	2,758	193	502	18
標津町	427	237	1,075	60	117	3
羅臼町	476	305	804	65	104	7
計	2,506	1,878	6,202	497	1,491	48

7 中村啓一 (自民)	8 北修二 (自民)	9 浅沼ひろみち (無)	有 投 票 (A)	効 数 (A)	無 投 票 (B)	効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
2,530	4,440	21	15,760	211	15,971	15,971	15,971	
743	1,537	2	4,359	68	4,427	4,427	4,427	
728	1,255	3	4,706	125	4,831	4,832	4,832	
716	1,453	2	4,168	66	4,234	4,234	4,234	
943	1,300	3	6,037	91	6,128	6,128	6,128	
1,065	2,625	14	7,766	186	7,952	7,952	7,952	
1,031	3,451	9	9,341	147	9,488	9,489	9,489	
388	546	—	2,355	35	2,390	2,391	2,391	
432	754	2	2,265	51	2,316	2,316	2,316	
313	472	—	1,429	38	1,467	1,467	1,467	
834	1,783	—	5,216	105	5,321	5,321	5,321	
1,271	1,831	3	6,182	122	6,304	6,304	6,304	
1,824	2,105	8	10,878	196	11,074	11,074	11,074	
853	804	2	7,574	218	7,792	7,796	7,796	
521	1,303	1	3,747	70	3,817	3,817	3,817	
1,943	1,699	11	8,188	143	8,331	8,333	8,333	
1,226	1,494	3	7,680	270	7,950	7,955	7,955	
459	868	2	3,387	85	3,472	3,472	3,472	
953	1,909	9	6,165	120	6,285	6,286	6,286	
18,773	31,627	95	117,203	2,347	119,550	119,565	119,565	

7 中村啓一 (自民)	8 北修二 (自民)	9 浅沼ひろみち (無)	有 投 票 (A)	効 数 (A)	無 投 票 (B)	効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
1,128	1,228	12	5,029	116	5,145	5,145	5,145	
1,555	1,632	16	7,531	156	7,687	7,687	7,687	
1,072	1,500	9	4,740	92	4,832	4,832	4,832	
1,218	2,022	5	6,902	236	7,138	7,138	7,138	
1,911	1,235	8	6,531	136	6,667	6,667	6,667	
1,316	1,222	1	4,359	102	4,461	4,462	4,462	
256	733	2	1,550	51	1,601	1,601	1,601	
1,509	1,607	9	7,379	177	7,556	7,556	7,556	
544	737	—	2,121	53	2,174	2,174	2,174	
10,509	11,916	62	46,142	1,119	47,261	47,262	47,262	

7 中村啓一 (自民)	8 北修二 (自民)	9 浅沼ひろみち (無)	有 投 票 (A)	効 数 (A)	無 投 票 (B)	効 数 (B)	投 票 総 数 (A)+(B) (C)	投 票 者 数 (D)
1,210	4,488	9	9,627	182	9,809	9,809	9,809	
1,649	2,793	16	9,480	140	9,620	9,621	9,621	
678	1,274	3	3,874	78	3,952	3,952	3,952	
990	713	7	3,471	68	3,539	3,539	3,539	
4,527	9,268	35	26,452	468	26,920	26,921	26,921	

党 派 別

区分		自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
支庁・市別						
石渡	狩	16,865	9,947	4,496	3,213	4,569
	島	38,248	23,130	10,565	5,610	13,332
	後	19,914	8,573	4,065	3,390	3,457
	空	36,082	17,555	8,734	5,987	5,903
上留	志	46,054	15,916	6,560	4,445	4,681
	網	41,365	25,396	6,640	3,316	5,510
	胆	16,983	8,019	2,644	1,247	2,026
	胆	14,139	7,800	3,196	2,002	1,767
日十	走	54,861	36,954	7,536	5,088	6,517
	振	20,483	11,089	6,125	3,577	4,090
	高	23,963	18,568	5,501	4,274	3,139
	路	50,400	47,345	7,773	5,862	5,602
根	室	22,425	12,770	4,520	3,135	3,171
	室	13,795	6,699	2,506	1,491	1,878
	支	415,577	249,761	80,861	52,637	65,642
	計					
札幌	市	186,553	147,583	89,140	67,859	94,491
	市	34,587	38,153	19,568	14,959	32,334
	市	27,645	22,264	12,871	13,300	13,699
	市	57,350	47,443	17,436	11,026	20,639
川	市	28,040	20,767	11,629	8,292	8,856
	路	29,718	34,879	15,141	7,969	10,601
	市	27,336	27,477	7,959	4,845	5,810
	市	20,095	16,157	4,000	3,509	4,363
北	市	4,370	13,168	3,645	2,790	2,008
	張	15,307	11,334	3,496	3,431	3,769
	見	9,755	6,757	2,309	1,448	2,032
	沢	7,771	5,782	1,848	1,020	1,770
網	市	22,145	16,681	9,993	5,916	8,312
	市	8,936	8,070	3,667	1,733	3,008
	市	8,542	4,997	2,563	2,356	1,679
	市	6,018	7,678	2,851	1,543	1,563
芦	市	15,028	12,079	4,752	3,972	4,883
	市	3,874	6,066	2,277	1,338	1,071
	市	6,205	4,830	1,473	1,168	1,850
	市	6,432	5,090	1,531	857	1,110
名	市	7,840	6,352	1,850	940	1,814
	市	3,701	6,349	1,772	1,294	1,067
	市	7,882	4,816	1,488	1,628	2,436
	市	15,368	4,804	3,311	1,464	4,982
滝	市	10,671	7,641	2,841	1,975	2,567
	川	5,433	4,436	1,833	1,061	1,163
	市	1,551	2,593	992	921	422
	市	10,151	5,143	1,610	1,531	1,398
砂	市	6,293	5,420	1,288	1,013	1,330
	市	8,609	8,125	4,038	2,766	3,397
	市	10,822	3,753	2,141	1,311	2,990
	市	7,485	4,349	2,346	1,544	1,770
市	計	621,513	521,036	243,659	176,779	249,084
	計	1,037,090	770,797	324,520	229,416	314,726

得 票 数

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						
		自 民	社 会	公 明	共 産	新 自 々	無	計
131	39,221	43.0	25.4	11.5	8.2	11.6	0.3	100.0
409	91,294	41.9	25.3	11.6	6.2	14.6	0.4	100.0
131	39,530	50.4	21.7	10.3	8.6	8.7	0.3	100.0
176	74,437	48.5	23.6	11.7	8.1	7.9	0.2	100.0
190	77,846	59.2	20.5	8.4	5.7	6.0	0.2	100.0
210	82,437	50.2	30.8	8.0	4.0	6.7	0.3	100.0
118	31,037	54.7	25.9	8.5	4.0	6.5	0.4	100.0
82	28,986	48.8	26.9	11.0	6.9	6.1	0.3	100.0
232	111,188	49.3	33.2	6.8	4.6	5.9	0.2	100.0
177	45,541	45.0	24.3	13.4	7.9	9.0	0.4	100.0
114	55,559	43.1	33.4	9.9	7.7	5.7	0.2	100.0
221	117,203	43.0	40.4	6.6	5.0	4.8	0.2	100.0
121	46,142	48.6	27.7	9.8	6.8	6.9	0.2	100.0
83	26,452	52.2	25.3	9.5	5.6	7.1	0.3	100.0
<b>2,395</b>	<b>866,873</b>	<b>47.9</b>	<b>28.8</b>	<b>9.3</b>	<b>6.1</b>	<b>7.6</b>	<b>0.3</b>	<b>100.0</b>
2,254	587,880	31.7	25.1	15.2	11.5	16.1	0.4	100.0
471	140,072	24.7	27.2	14.0	10.7	23.1	0.3	100.0
276	90,055	30.7	24.7	14.3	14.8	15.2	0.3	100.0
409	154,303	37.2	30.7	11.3	7.1	13.4	0.3	100.0
212	77,796	36.0	26.7	14.9	10.7	11.4	0.3	100.0
310	98,618	30.1	35.4	15.4	8.1	10.7	0.3	100.0
129	73,556	37.2	37.3	10.8	6.6	8.0	0.2	100.0
142	48,166	41.7	35.5	8.3	7.3	8.9	0.3	100.0
46	26,027	16.8	50.6	14.0	10.7	7.7	0.2	100.0
88	37,425	40.9	30.3	9.3	9.2	10.1	0.2	100.0
31	22,332	43.7	30.3	10.3	6.5	9.1	0.1	100.0
37	18,228	42.6	31.7	10.2	5.6	9.7	0.2	100.0
187	63,234	35.0	26.4	15.8	9.4	13.1	0.3	100.0
92	25,506	35.0	31.6	14.4	6.8	11.8	0.4	100.0
65	20,202	42.3	24.7	12.7	11.7	8.3	0.3	100.0
49	19,702	30.6	39.0	14.5	7.8	7.9	0.2	100.0
103	40,817	36.8	29.6	11.6	9.7	12.0	0.3	100.0
36	14,662	26.4	41.4	15.5	9.1	7.3	0.3	100.0
38	15,564	39.9	31.0	9.5	7.5	11.9	0.2	100.0
85	15,105	42.6	33.7	10.1	5.7	7.3	0.6	100.0
58	18,854	41.6	33.7	9.8	5.0	9.6	0.3	100.0
20	14,203	26.1	44.7	12.5	9.1	7.5	0.1	100.0
143	18,393	42.8	26.2	8.1	8.9	13.2	0.8	100.0
113	30,042	51.2	16.0	11.0	4.9	16.6	0.3	100.0
56	25,751	41.4	29.7	11.0	7.7	10.0	0.2	100.0
27	13,953	38.9	31.8	13.1	7.6	8.4	0.2	100.0
34	6,513	23.8	39.8	15.2	14.2	6.5	0.5	100.0
43	19,876	51.1	25.9	8.1	7.7	7.0	0.2	100.0
51	15,395	40.9	35.2	8.4	6.6	8.6	0.3	100.0
112	27,047	31.9	30.0	14.9	10.2	12.6	0.4	100.0
102	21,119	51.2	17.8	10.1	6.2	14.2	0.5	100.0
76	17,570	42.6	24.8	13.3	8.8	10.1	0.4	100.0
<b>5,895</b>	<b>1,817,966</b>	<b>34.2</b>	<b>28.7</b>	<b>13.4</b>	<b>9.7</b>	<b>13.7</b>	<b>0.3</b>	<b>100.0</b>
<b>8,290</b>	<b>2,684,839</b>	<b>38.6</b>	<b>28.7</b>	<b>12.1</b>	<b>8.6</b>	<b>11.7</b>	<b>0.3</b>	<b>100.0</b>

## (札幌市)

区分 区別	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
中央区	35,396	17,696	11,560	8,524	14,403
北東区	23,181	21,606	12,613	10,060	12,688
白石区	26,022	23,716	14,256	11,869	14,140
豊平区	25,673	23,725	16,602	12,638	13,720
南区	27,445	21,287	13,051	9,686	14,295
西区	21,214	12,826	6,696	4,638	9,296
計	27,622	26,727	14,362	10,444	15,949
計	186,553	147,583	89,140	67,859	94,491

## (石狩支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
広島町	4,540	3,976	1,671	1,185	2,043
石狩別荘	3,897	2,609	1,350	794	1,340
当別町	4,766	1,918	693	957	889
新篠津村	1,860	356	128	61	80
厚田村	861	366	372	96	109
浜益村	941	722	282	120	108
計	16,865	9,947	4,496	3,213	4,569

## (渡島支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
松前町	3,544	1,597	976	505	1,094
福島町	2,169	922	908	324	811
知内町	2,037	704	308	89	308
木古内町	2,092	1,328	422	357	609
上磯町	4,386	3,703	1,592	995	2,429
大野町	2,571	1,036	416	261	619
七飯町	3,374	2,770	1,115	584	1,970
戸井町	1,505	426	304	146	398
尻内町	1,483	845	438	142	269
法華村	689	179	150	44	99
茅部町	2,524	1,211	725	153	771
鹿部村	1,029	489	200	86	259
砂原町	1,062	426	332	139	384
森町	3,174	1,920	1,062	381	1,592
八雲町	4,359	2,992	1,013	649	1,214
長万部町	2,250	2,582	604	755	506
計	38,248	23,130	10,565	5,610	13,332

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計			
316	87,895	40.3	20.1	13.1	9.7	16.4	0.4	100.0	
321	80,469	28.8	26.8	15.7	12.5	15.8	0.4	100.0	
427	90,430	28.8	26.2	15.8	13.1	15.6	0.5	100.0	
306	92,664	27.7	25.6	17.9	13.7	14.8	0.3	100.0	
286	86,050	31.9	24.7	15.2	11.3	16.6	0.3	100.0	
224	54,894	38.6	23.4	12.2	8.5	16.9	0.4	100.0	
374	95,478	29.0	28.0	15.0	10.9	16.7	0.4	100.0	
2,254	587,880	31.7	25.1	15.2	11.5	16.1	0.4	100.0	

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計			
59	13,474	33.7	29.5	12.4	8.8	15.2	0.4	100.0	
33	10,023	38.9	26.0	13.5	7.9	13.4	0.3	100.0	
20	9,243	51.6	20.7	7.5	10.4	9.6	0.2	100.0	
6	2,491	74.7	14.3	5.1	2.5	3.2	0.2	100.0	
7	1,811	47.6	20.2	20.5	5.3	6.0	0.4	100.0	
6	2,179	43.2	33.1	12.9	5.5	5.0	0.3	100.0	
131	39,221	43.0	25.4	11.5	8.2	11.6	0.3	100.0	

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計			
24	7,740	45.8	20.7	12.6	6.5	14.1	0.3	100.0	
42	5,176	41.9	17.8	17.5	6.3	15.7	0.8	100.0	
8	3,454	59.0	20.4	8.9	2.6	8.9	0.2	100.0	
18	4,826	43.4	27.5	8.7	7.4	12.6	0.4	100.0	
77	13,182	33.3	28.1	12.1	7.5	18.4	0.6	100.0	
23	4,926	52.2	21.0	8.4	5.3	12.6	0.5	100.0	
44	9,857	34.2	28.1	11.3	5.9	20.0	0.5	100.0	
10	2,789	54.0	15.3	10.9	5.2	14.3	0.3	100.0	
19	3,196	46.4	26.4	13.7	4.5	8.4	0.6	100.0	
5	1,166	59.1	15.3	12.9	3.8	8.5	0.4	100.0	
23	5,407	46.7	22.4	13.4	2.8	14.3	0.4	100.0	
9	2,072	49.7	23.6	9.7	4.1	12.5	0.4	100.0	
16	2,359	45.0	18.0	14.1	5.9	16.3	0.7	100.0	
34	8,163	38.9	23.5	13.0	4.7	19.5	0.4	100.0	
39	10,266	42.5	29.1	9.9	6.3	11.8	0.4	100.0	
18	6,715	33.5	38.5	9.0	11.2	7.5	0.3	100.0	
409	91,294	41.9	25.3	11.6	6.2	14.6	0.4	100.0	

## ( 松 山 支 庁 )

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
江上町	2,935	2,011	714	570	812
差ノ部町	2,076	1,086	388	671	329
厚沢部町	2,582	707	351	191	255
乙部町	1,646	621	475	452	278
熊石町	1,408	799	341	147	363
大奥町	1,345	434	272	214	201
瀬尻町	1,797	352	405	201	298
瀬北町	1,388	389	141	196	169
今金町	2,296	959	469	379	317
計	19,914	8,573	4,065	3,390	3,457

## ( 後 志 支 庁 )

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
島村町	950	441	256	160	78
寿都町	1,576	819	380	385	156
黒松町	1,281	818	179	279	105
蘭越町	2,495	1,194	388	205	293
ニセコ町	1,434	640	265	218	204
真狩村	1,166	392	219	62	140
留寿都村	782	214	91	108	47
喜茂別町	1,359	634	388	119	191
倶知安町	1,664	544	221	49	110
和町	4,890	2,762	928	612	708
共岩内町	2,594	1,024	346	195	218
泊内村	4,386	2,172	1,554	1,234	1,067
神恵内村	877	297	238	250	98
積丹町	458	352	202	34	87
古仁平町	1,137	536	425	124	315
赤井川村	1,194	550	421	176	314
赤井川町	1,460	876	384	230	324
計	5,850	3,059	1,759	1,449	1,403
計	529	231	90	98	45
計	36,082	17,555	8,734	5,987	5,903

## ( 空 知 支 庁 )

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
北村町	2,484	360	144	91	108
栗沢町	3,431	1,492	477	333	419
南幌町	2,283	368	234	160	183
奈井江町	3,896	594	416	527	160
上砂町	1,389	3,538	1,128	844	483
由仁町	3,223	1,136	416	248	367
長沼町	4,944	1,216	507	386	533
栗山町	4,689	2,339	1,009	604	999
月形町	2,212	610	331	124	223
浦臼町	1,739	308	148	99	104
新十津川町	3,691	952	472	204	334
妹背牛町	2,799	492	258	210	177
秩父別町	1,907	340	177	142	106
雨竜町	1,709	501	190	65	88
北竜町	1,830	295	85	71	81
沼田町	2,445	701	333	234	230
幌加内町	1,383	674	235	103	86
計	46,054	15,916	6,560	4,445	4,681

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計		
32	7,074	41.5	28.4	10.1	8.1	11.5	0.4	100.0
18	4,568	45.4	23.8	8.5	14.7	7.2	0.4	100.0
20	4,086	63.2	17.3	8.1	4.7	6.2	0.5	100.0
6	3,478	47.3	17.8	13.7	13.0	8.0	0.2	100.0
10	3,068	45.9	26.1	11.1	4.8	11.8	0.3	100.0
3	2,469	54.5	17.6	11.0	8.7	8.1	0.1	100.0
11	3,064	58.6	11.5	13.2	6.6	9.7	0.4	100.0
9	2,292	60.6	17.0	6.1	8.5	7.4	0.4	100.0
6	4,426	51.9	21.7	10.6	8.6	7.1	0.1	100.0
16	5,005	48.8	24.3	10.5	7.4	8.7	0.3	100.0
131	39,530	50.4	21.7	10.3	8.6	8.7	0.3	100.0

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計		
5	1,890	50.3	23.3	13.5	8.5	4.1	0.3	100.0
13	3,329	47.3	24.6	11.4	11.6	4.7	0.4	100.0
6	2,668	48.0	30.7	6.7	10.5	3.9	0.2	100.0
4	4,579	54.5	26.1	8.5	4.4	6.4	0.1	100.0
10	2,771	51.7	23.1	9.6	7.9	7.4	0.3	100.0
4	1,983	58.8	19.8	11.0	3.1	7.1	0.2	100.0
4	1,246	62.7	17.2	7.3	8.7	3.8	0.3	100.0
10	2,701	50.3	23.5	14.3	4.4	7.1	0.4	100.0
5	2,593	64.2	21.0	8.5	1.9	4.2	0.2	100.0
5	9,905	49.4	27.9	9.4	6.2	7.1	0.0	100.0
3	4,380	59.2	23.4	7.9	4.4	5.0	0.1	100.0
16	10,429	42.1	20.8	14.9	11.8	10.2	0.2	100.0
3	1,763	49.7	16.8	13.5	14.2	5.6	0.2	100.0
7	1,140	40.2	30.9	17.7	3.0	7.6	0.6	100.0
12	2,549	44.6	21.0	16.7	4.9	12.3	0.5	100.0
6	2,661	44.9	20.7	15.8	6.6	11.8	0.2	100.0
19	3,293	44.3	26.6	11.7	7.0	9.8	0.6	100.0
42	13,562	43.1	22.6	13.0	10.7	10.3	0.3	100.0
2	995	53.2	23.2	9.0	9.9	4.5	0.2	100.0
176	74,437	48.5	23.6	11.7	8.1	7.9	0.2	100.0

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計		
5	3,192	77.8	11.3	4.5	2.8	3.4	0.2	100.0
32	6,184	55.5	24.1	7.7	5.4	6.8	0.5	100.0
5	3,233	70.6	11.4	7.2	4.9	5.7	0.2	100.0
3	5,596	69.6	10.6	7.4	9.4	2.9	0.1	100.0
11	7,393	18.8	47.9	15.3	11.4	6.5	0.1	100.0
13	5,403	59.7	21.0	7.7	4.6	6.8	0.2	100.0
25	7,611	64.9	16.0	6.7	5.1	7.0	0.3	100.0
48	9,688	48.4	24.2	10.4	6.2	10.3	0.5	100.0
8	3,508	63.1	17.4	9.4	3.5	6.4	0.2	100.0
3	2,401	72.4	12.8	6.2	4.1	4.4	0.1	100.0
15	5,668	65.1	16.8	8.3	3.6	5.9	0.3	100.0
5	3,941	71.0	12.5	6.6	5.3	4.5	0.1	100.0
3	2,675	71.3	12.7	6.6	5.3	4.0	0.1	100.0
2	2,555	66.9	19.6	7.4	2.5	3.5	0.1	100.0
5	2,367	77.3	12.5	3.6	3.0	3.4	0.2	100.0
4	3,947	62.0	17.8	8.4	5.9	5.8	0.1	100.0
3	2,484	55.7	27.1	9.5	4.1	3.5	0.1	100.0
190	77,846	59.2	20.5	8.4	5.7	6.0	0.2	100.0

## (上川支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
鷹栖町	2,251	988	243	279	266
東神楽町	1,261	1,277	192	90	175
当麻町	2,784	1,235	649	192	540
比布町	1,879	790	232	256	182
愛別町	2,528	761	269	72	165
上川町	1,400	2,506	494	238	398
東川町	2,072	1,112	527	172	378
美瑛町	4,202	2,770	851	431	622
上富良野町	4,765	1,528	510	211	942
中富良野町	2,992	918	167	108	243
南富良野町	1,056	1,441	158	92	120
占冠村	401	387	81	44	47
和寒町	2,452	1,110	372	221	212
剣淵町	1,493	1,080	162	243	221
朝日町	1,050	894	102	74	62
風連町	2,267	1,203	575	129	212
下川町	1,862	2,341	448	132	271
美深町	2,967	1,603	419	223	321
音威子府村	535	682	72	45	45
中川町	1,148	770	107	64	88
計	41,365	25,396	6,640	3,316	5,510

## (留萌支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
増毛町	2,486	1,104	610	273	505
小平町	2,239	950	271	77	210
苫前町	2,100	964	379	117	274
羽幌町	4,251	2,119	513	308	460
初山別村	891	483	74	38	57
遠別町	1,649	903	290	139	184
天塩町	1,995	809	327	148	228
幌延町	1,372	687	180	147	108
計	16,983	8,019	2,644	1,247	2,026

## (宗谷支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
猿払村	1,022	540	171	101	87
浜頓別町	1,242	1,872	214	196	260
中頓別町	976	993	195	211	155
枝幸町	2,750	1,282	573	539	289
歌登町	1,196	766	148	111	77
豊礼町	1,816	1,039	316	346	184
利尻町	1,860	382	513	192	214
東利尻町	1,458	493	598	133	253
利尻町	1,819	433	468	173	248
計	14,139	7,800	3,196	2,002	1,767

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計			
3	4,030	55.9	24.5	6.0	6.9	6.6	0.1	100.0	
13	3,008	41.9	42.5	6.4	3.0	5.8	0.4	100.0	
16	5,416	51.4	22.8	12.0	3.5	10.0	0.3	100.0	
12	3,351	56.1	23.6	6.9	7.6	5.4	0.4	100.0	
6	3,801	66.5	20.0	7.1	1.9	4.3	0.2	100.0	
19	5,055	27.7	49.6	9.7	4.7	7.9	0.4	100.0	
20	4,281	48.4	26.0	12.3	4.0	8.8	0.5	100.0	
22	8,898	47.2	31.1	9.6	4.8	7.0	0.3	100.0	
30	7,986	59.7	19.1	6.4	2.6	11.8	0.4	100.0	
8	4,436	67.4	20.7	3.8	2.4	5.5	0.2	100.0	
6	2,873	36.7	50.2	5.5	3.2	4.2	0.2	100.0	
—	960	41.8	40.3	8.4	4.6	4.9	—	100.0	
14	4,381	56.0	25.3	8.5	5.1	4.8	0.3	100.0	
9	3,218	46.4	33.6	5.3	7.5	6.9	0.3	100.0	
4	2,186	48.0	40.9	4.7	3.4	2.8	0.2	100.0	
11	4,397	51.6	27.4	13.1	2.9	4.8	0.2	100.0	
6	5,060	36.8	46.3	8.8	2.6	5.4	0.1	100.0	
9	5,542	53.5	28.9	7.6	4.0	5.8	0.2	100.0	
—	1,379	38.8	49.4	5.2	3.3	3.3	—	100.0	
2	2,179	52.7	35.3	4.9	2.9	4.1	0.1	100.0	
210	82,437	50.2	30.8	8.0	4.0	6.7	0.3	100.0	

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計			
27	5,005	49.7	22.0	12.2	5.5	10.1	0.5	100.0	
17	3,764	59.5	25.2	7.2	2.0	5.6	0.5	100.0	
11	3,845	54.6	25.1	9.9	3.0	7.1	0.3	100.0	
24	7,675	55.4	27.6	6.7	4.0	6.0	0.3	100.0	
4	1,547	57.6	31.2	4.8	2.5	3.7	0.2	100.0	
11	3,176	51.9	28.4	9.1	4.4	5.8	0.4	100.0	
11	3,518	56.7	23.0	9.3	4.2	6.5	0.3	100.0	
13	2,507	54.7	27.4	7.2	5.9	4.3	0.5	100.0	
118	31,037	54.7	25.9	8.5	4.0	6.5	0.4	100.0	

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民 社 会	公 明 共 産	新 自 民 党	無	計			
2	1,923	53.1	28.1	8.9	5.3	4.5	0.1	100.0	
6	3,790	32.8	49.4	5.6	5.2	6.9	0.1	100.0	
15	2,545	38.3	39.0	7.7	8.3	6.1	0.6	100.0	
16	5,449	50.5	23.5	10.5	9.9	5.3	0.3	100.0	
1	2,299	52.0	33.3	6.4	4.8	3.4	0.1	100.0	
7	3,708	49.0	28.0	8.5	9.3	5.0	0.2	100.0	
9	3,170	58.7	12.0	16.2	6.1	6.7	0.3	100.0	
17	2,952	49.4	16.7	20.2	4.5	8.6	0.6	100.0	
9	3,150	57.7	13.7	14.9	5.5	7.9	0.3	100.0	
82	28,986	48.8	26.9	11.0	6.9	6.1	0.3	100.0	

## (網走支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
東藻琴村	1,182	437	90	98	111
女満別町	2,496	761	320	89	190
美幌町	7,505	3,763	1,009	650	1,047
津別町	2,213	2,154	427	373	322
斜里町	3,694	3,548	648	414	402
清里町	1,920	1,668	287	96	175
小清水町	2,123	1,555	390	347	246
端野町	2,070	657	210	127	173
訓子府町	2,248	1,142	246	295	315
置戸町	1,918	1,782	179	164	210
留辺蘂町	3,627	3,283	530	377	499
佐呂間町	2,811	1,470	266	290	284
常呂町	1,848	982	225	144	255
生田原町	1,204	919	102	82	110
遠軽町	5,288	3,965	867	579	765
丸瀬布町	906	1,321	101	72	57
白滝村	708	627	82	28	21
上湧別町	2,501	1,707	374	214	251
湧別町	2,442	875	294	103	242
滝上町	1,714	1,680	258	92	169
興部町	1,814	1,219	275	158	310
西興部町	596	332	117	28	58
雄武町	2,035	1,107	239	288	305
計	54,861	36,954	7,536	5,088	6,517

## (胆振支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
豊浦町	1,846	731	468	308	267
虻田町	2,434	2,056	1,133	412	682
洞爺村	996	206	151	96	86
大滝村	450	201	216	36	96
北磐城町	1,215	584	386	117	211
白老町	4,195	2,334	2,170	1,051	1,481
早来町	1,842	777	315	197	343
追分町	860	1,505	174	451	190
厚真町	2,350	857	265	209	342
穂川町	2,729	1,004	521	430	250
穂別町	1,586	834	326	270	142
計	20,483	11,089	6,125	3,577	4,090

## (日高支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
日高町	919	708	201	207	92
平取町	2,161	1,720	396	295	235
門別町	3,750	2,212	745	659	548
新冠町	1,896	1,102	496	269	251
静内町	5,693	4,021	1,491	828	811
三浦町	2,209	1,318	284	163	173
石河町	3,291	4,753	971	1,223	534
様似町	2,084	1,445	412	352	253
えりも町	1,960	1,289	505	278	242
計	23,963	18,568	5,501	4,274	3,139

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民	社 会	公 明	共 産	新 自 々			
9	1,927	61.3	22.7	4.7	5.1	5.8	0.4	100.0	
13	3,869	64.5	19.7	8.3	2.3	4.9	0.3	100.0	
31	13,983	53.7	26.9	7.2	4.5	7.5	0.2	100.0	
6	5,495	40.3	39.2	7.8	6.8	5.8	0.1	100.0	
11	8,717	42.4	40.7	7.4	4.8	4.6	0.1	100.0	
11	4,157	46.2	40.1	6.9	2.3	4.2	0.3	100.0	
4	4,665	45.5	33.3	8.4	7.4	5.3	0.1	100.0	
8	3,245	63.8	20.2	6.5	3.9	5.3	0.3	100.0	
13	4,259	52.8	26.8	5.8	6.9	7.4	0.3	100.0	
6	4,259	45.0	41.8	4.2	3.9	4.9	0.2	100.0	
19	8,335	43.5	39.4	6.4	4.5	6.0	0.2	100.0	
11	5,132	54.8	28.6	5.2	5.7	5.5	0.2	100.0	
11	3,465	53.3	28.3	6.5	4.2	7.4	0.3	100.0	
2	2,419	49.8	38.0	4.2	3.4	4.5	0.1	100.0	
25	11,489	46.0	34.5	7.6	5.0	6.7	0.2	100.0	
2	2,459	36.9	53.7	4.1	2.9	2.3	0.1	100.0	
—	1,466	48.3	42.8	5.6	1.9	1.4	—	100.0	
7	5,054	49.5	33.8	7.4	4.2	5.0	0.1	100.0	
13	3,969	61.5	22.1	7.4	2.6	6.1	0.3	100.0	
12	3,925	43.7	42.8	6.6	2.3	4.3	0.3	100.0	
3	3,779	48.0	32.2	7.3	4.2	8.2	0.1	100.0	
—	1,131	52.7	29.4	10.3	2.5	5.1	—	100.0	
15	3,989	51.0	27.8	6.0	7.2	7.6	0.4	100.0	
232	111,188	49.3	33.2	6.8	4.6	5.9	0.2	100.0	

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民	社 会	公 明	共 産	新 自 々			
28	3,648	50.6	20.0	12.8	8.5	7.3	0.8	100.0	
13	6,730	36.2	30.6	16.8	6.1	10.1	0.2	100.0	
3	1,538	64.8	13.4	9.8	6.2	5.6	0.2	100.0	
6	1,005	44.8	20.0	21.5	3.6	9.5	0.6	100.0	
10	2,523	48.2	23.1	15.3	4.6	8.4	0.4	100.0	
48	11,279	37.2	20.7	19.3	9.3	13.1	0.4	100.0	
29	3,503	52.6	22.2	9.0	5.6	9.8	0.8	100.0	
11	3,191	26.9	47.2	5.5	14.1	6.0	0.3	100.0	
13	4,016	58.0	21.4	6.6	5.2	8.5	0.3	100.0	
8	4,942	55.2	20.3	10.5	8.7	5.1	0.2	100.0	
8	3,166	50.1	26.3	10.3	8.5	4.5	0.3	100.0	
177	45,541	45.0	24.3	13.4	7.9	9.0	0.4	100.0	

無 所 属	計	左 の 構 成 比 (%)						無	計
		自 民	社 会	公 明	共 産	新 自 々			
3	2,130	43.2	33.2	9.4	9.7	4.3	0.2	100.0	
12	4,819	44.8	35.7	8.2	6.1	4.9	0.3	100.0	
15	7,929	47.3	27.9	9.4	8.3	6.9	0.2	100.0	
10	4,024	47.1	27.4	12.3	6.7	6.2	0.3	100.0	
24	12,868	44.2	31.3	11.6	6.4	6.3	0.2	100.0	
6	4,153	53.2	31.7	6.8	3.9	4.2	0.2	100.0	
16	10,788	30.5	44.1	9.0	11.3	5.0	0.1	100.0	
10	4,556	45.8	31.7	9.0	7.7	5.6	0.2	100.0	
18	4,292	45.7	30.0	11.8	6.5	5.6	0.4	100.0	
114	55,559	43.1	33.4	9.9	7.7	5.7	0.2	100.0	

## (十勝支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
音更町	6,970	5,542	1,299	875	1,038
士幌町	2,280	1,442	203	329	98
上幌町	1,981	2,089	258	262	113
鹿追町	2,169	1,394	263	126	208
新得町	2,243	2,832	411	261	284
清芽町	3,690	2,622	578	433	413
水内村	4,482	2,988	570	698	586
芽室町	934	1,071	116	159	72
中別町	1,186	777	116	85	98
忠類村	785	495	70	51	27
大樹町	2,617	1,827	270	284	211
広尾町	3,102	1,757	421	337	545
幕別町	3,929	5,069	632	673	548
池田町	1,657	5,054	370	232	257
豊頃町	1,824	1,363	321	137	101
本別町	3,642	3,501	451	246	334
足寄町	2,720	3,557	692	337	363
陸奥町	1,327	1,582	271	134	65
浦幌町	2,862	2,383	461	203	241
計	50,400	47,345	7,773	5,862	5,602

## (釧路支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
釧路村	2,356	1,095	635	350	560
厚岸町	3,187	2,093	865	714	649
浜中町	2,572	1,082	483	247	340
標茶町	3,240	2,141	549	667	295
弟子屈町	3,146	2,235	486	288	361
阿寒町	2,538	1,040	435	114	228
鶴居村	989	283	104	115	57
白音別町	3,116	2,383	761	534	568
音別町	1,281	418	202	106	113
計	22,425	12,770	4,520	3,135	3,171

## (根室支庁)

種別 町村名	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	新自由クラブ
別海町	5,698	1,744	788	768	600
中標津町	4,442	2,951	815	502	736
標津町	1,952	1,135	427	117	237
羅臼町	1,703	869	476	104	305
計	13,795	6,699	2,506	1,491	1,878

無所属	計	左の構成比 (%)										
		自	民	社	会	公	明	共	産	新	自	ク
36	15,760	44.2	35.2	8.2	5.6	6.6	0.2	100.0				
7	4,359	52.3	33.1	4.7	7.5	2.2	0.2	100.0				
3	4,706	42.1	44.4	5.5	5.5	2.4	0.1	100.0				
8	4,168	52.0	33.5	6.3	3.0	5.0	0.2	100.0				
6	6,037	37.2	46.9	6.8	4.3	4.7	0.1	100.0				
30	7,766	47.5	33.8	7.4	5.6	5.3	0.4	100.0				
17	9,341	48.0	32.0	6.1	7.4	6.3	0.2	100.0				
3	2,355	39.7	45.5	4.9	6.7	3.1	0.1	100.0				
3	2,265	52.4	34.3	5.1	3.8	4.3	0.1	100.0				
1	1,429	54.9	34.6	4.9	3.6	1.9	0.1	100.0				
7	5,216	50.2	35.0	5.2	5.5	4.0	0.1	100.0				
20	6,182	50.2	28.4	6.8	5.5	8.8	0.3	100.0				
27	10,878	36.1	46.6	5.8	6.2	5.0	0.3	100.0				
4	7,574	21.9	66.7	4.9	3.1	3.4	0.0	100.0				
1	3,747	48.7	36.4	8.6	3.6	2.7	0.0	100.0				
14	8,188	44.5	42.7	5.5	3.0	4.1	0.2	100.0				
11	7,680	35.4	46.3	9.0	4.4	4.7	0.2	100.0				
8	3,387	39.2	46.7	8.0	4.0	1.9	0.2	100.0				
15	6,165	46.4	38.7	7.5	3.3	3.9	0.2	100.0				
221	117,203	43.0	40.4	6.6	5.0	4.8	0.2	100.0				

無所属	計	左の構成比 (%)										
		自	民	社	会	公	明	共	産	新	自	ク
33	5,029	46.8	21.8	12.6	7.0	11.1	0.7	100.0				
23	7,531	42.3	27.8	11.5	9.5	8.6	0.3	100.0				
16	4,740	54.3	22.8	10.2	5.2	7.2	0.3	100.0				
10	6,902	46.9	31.0	8.0	9.7	4.3	0.1	100.0				
15	6,531	48.2	34.2	7.5	4.4	5.5	0.2	100.0				
4	4,359	58.2	23.9	10.0	2.6	5.2	0.1	100.0				
2	1,550	63.8	18.3	6.7	7.4	3.7	0.1	100.0				
17	7,379	42.2	32.3	10.3	7.2	7.7	0.3	100.0				
1	2,121	60.4	19.7	9.5	5.0	5.3	0.1	100.0				
121	46,142	48.6	27.7	9.8	6.8	6.9	0.2	100.0				

無所属	計	左の構成比 (%)										
		自	民	社	会	公	明	共	産	新	自	ク
29	9,627	59.2	18.1	8.2	8.0	6.2	0.3	100.0				
34	9,480	46.9	31.1	8.6	5.3	7.8	0.3	100.0				
6	3,874	50.4	29.3	11.0	3.0	6.1	0.1	100.0				
14	3,471	49.1	25.0	13.7	3.0	8.8	0.4	100.0				
83	26,452	52.2	25.3	9.5	5.6	7.1	0.3	100.0				

全国区党派別

(得票数)

区分	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	民社党
市部	735,184.796	436,030.451	188,436.429	175,866.998	52,167.990
郡部	446,807.566	204,004.508	59,815.823	58,084.997	18,964.759
計	1,181,992.362	640,034.959	248,252.252	233,951.995	71,132.749

(構成比)

区分	自由民主党	日本社会党	公明党	日本共産党	民社党
市部	41.0	24.3	10.5	9.8	2.9
郡部	52.9	24.2	7.1	6.9	2.2
計	44.8	24.3	9.4	8.9	2.7

得 票 数 ・ 構 成 比

新自由クラブ	社会市民連合	革新自由連合	日本女性党	諸 派	無 所 属	計
43,944.676	36,813	24,582.660	3,997	8,980.105	85,144.592	1,791,148.697
10,184.951	8,444	6,521.605	1,927	3,599.119	26,098.091	844,452.419
54,129.627	45,257	31,104.265	5,924	12,579.224	111,242.683	2,635,601.116

新自由クラブ	社会市民連合	革新自由連合	日本女性党	諸 派	無 所 属	計
2.5	2.1	1.4	0.2	0.5	4.8	100.0
1.2	1.0	0.8	0.2	0.4	3.1	100.0
2.1	1.7	1.2	0.2	0.5	4.2	100.0